

仙台市スポーツ推進計画  
2022-2031  
人とまちが元気に輝き続ける  
-Sports City SENDAI-  
中間案



# Contents

## CHAPTER 計画の策定にあたって

### 01

1. 計画策定の趣旨 [2]
2. 本市スポーツ推進計画の位置づけ [3]
3. 計画の期間 [3]
4. 本市スポーツ推進計画におけるスポーツの範囲 [4]
5. スポーツの力 [8]
6. 現計画での取り組み [10]
7. 本市におけるスポーツの特徴・強み [10]
8. スポーツを取り巻く環境 [12]

## CHAPTER 目指す姿

### 02

1. 目指す姿 [26]

## CHAPTER 基本方針

### 03

1. 基本方針 [28]

## DOCUMENT 巻末資料

- 用語集 [72]

## CHAPTER 施策の展開

### 04

1. 施策の展開 [34]
2. 関係部局間の連携 [34]

## CHAPTER 施策

### 05

1. 体系図 [36]
2. 施策の整理 [38]
3. 施策 [42]

## CHAPTER 計画の推進

### 06

1. 成果指標・目標値[70]
2. 計画の進行管理 [71]
3. 仙台市スポーツ推進審議会への進捗報告 [71]



CHAPTER  
01

## 計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨
2. 本市スポーツ推進計画の位置づけ
3. 計画の期間
4. 本市スポーツ推進計画におけるスポーツの範囲
5. スポーツの力
6. 現計画での取り組み
7. 本市におけるスポーツの特徴・強み
8. スポーツを取り巻く環境

## 1. 計画策定の趣旨

### 本市のスポーツ行政推進の指針として

本市では、平成 24（2012）年に「仙台市スポーツ推進計画 2012～2021」（以下、「前計画」という）を策定<sup>※1</sup>し、「人とまちの元気をはぐくむ『スポーツシティ仙台』」の基本理念のもと、「する」「みる」「ささえる」「ひろがる」の4つの柱を基本目標に据え、各施策に取り組んできました。

前計画期間における本市スポーツの歩みは、東日本大震災からの復興とともにありました。「震災から復興する仙台を発信すること」などを柱に掲げ、1万人規模の市民参加型大会としてリニューアルした仙台国際ハーフマラソン大会の開催を皮切りに、本市に本拠地を置くプロスポーツチームの躍進、本市ゆかりのアスリートのオリンピックでの活躍など、スポーツは、市民一人ひとりの元気や輝き、まちの賑わいを取り戻すための大きな原動力・推進力となりました。

また、文化スポーツの分野における観光部門との連携強化に向け、平成 28（2016）年 4 月に文化観光局を新設するとともに、平成 26 年に設立した「スポーツコミッションせんだい<sup>※2</sup>」を活用し大規模スポーツ大会の誘致・開催の取り組みを進めるなど、交流人口の拡大による賑わいあふれるまちづくりを目指してきました。

これからの本市スポーツ施策の推進においては、社会経済情勢や多様化するライフスタイル、新型コロナウイルス感染症対策による「新しい生活様式」に合わせた対応等、スポーツを取り巻く環境・状況の変化に応じた柔軟な取り組みが求められます。このような状況を踏まえ、今後 10 年間の本市スポーツ施策について、総合的な推進を図るための基本的な計画として、「仙台市スポーツ推進計画 2022-2031」を策定します。

※1 平成 29（2017）年の改訂。

※2 多様なスポーツイベントの開催にあたり、実務的な支援や仙台の魅力を伝えるための様々なサポートを行うため設立された官民一体の組織。

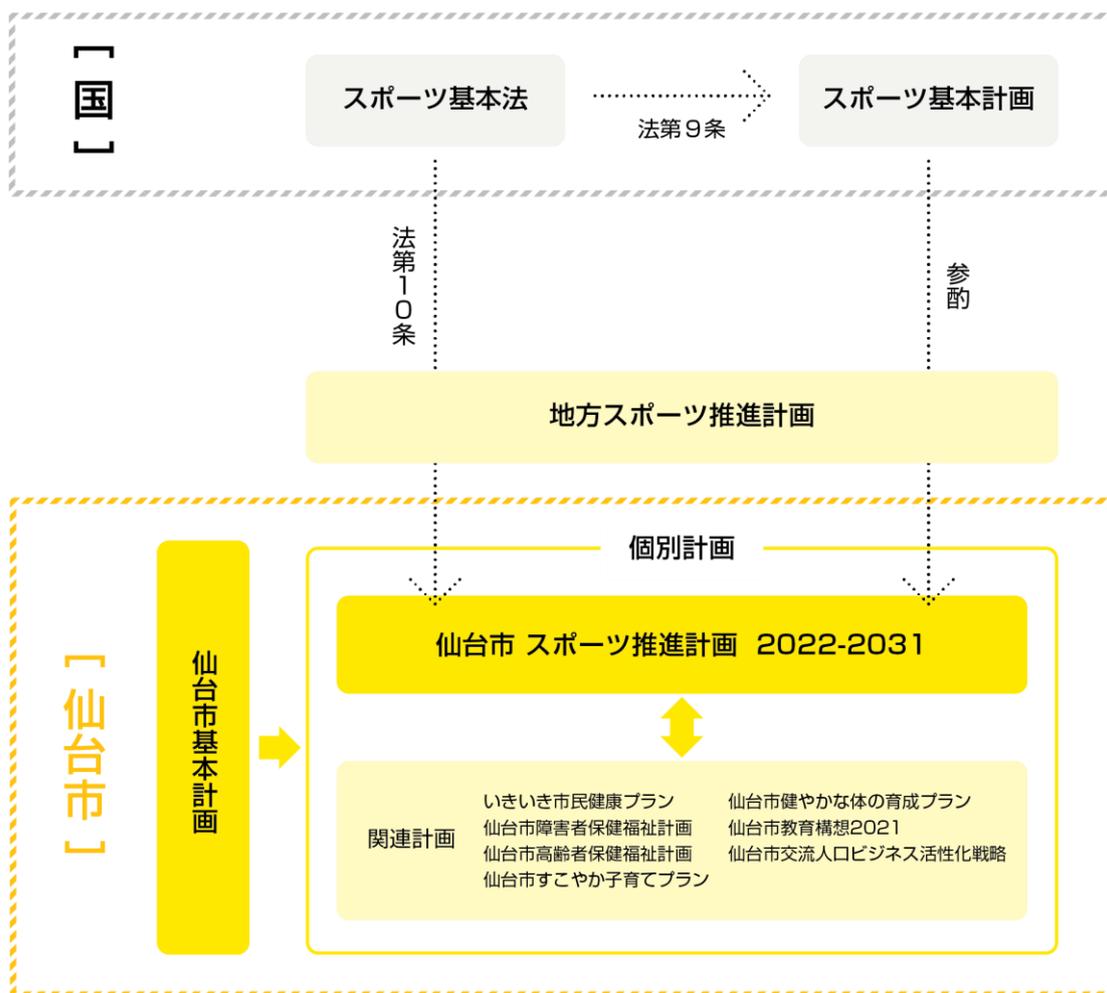
## 2. 本市スポーツ推進計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条における「地方スポーツ推進計画」として位置付け、仙台市基本計画を上位計画とした、本市におけるスポーツ推進の基本となる計画です。

## 3. 計画の期間

本計画は、令和4(2022)年度から令和13(2031)年度までの10年間を見通したものととして策定しますが、具体的に取り組む施策や数値目標等については、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間の内容とします。なお、本計画は、計画の進捗状況、社会情勢、国の政策動向等の変化に応じて、中間年(令和8年度)に必要な見直しを実施する予定です。

図表 各種計画の関係性



## 4. 本市スポーツ推進計画におけるスポーツの範囲

---

### 実は…あれもこれもスポーツです！

「スポーツ」はルールに基づいて記録や勝敗を競うことを目的とした競技スポーツを中心に、学校の体育や運動部活動、また自分の限界に挑戦していくような、どこかストイックなイメージが先行し、難しいものと考えられることが少なくありません。

「スポーツ」という言葉が示す範囲は本来とても広いもので、近年ではより広義に捉えられつつあり、決して競技スポーツに限るものではありません。運動不足の解消にウォーキングやジョギングをするというような健康の保持・増進を目的として継続的に行う身体的活動もちろんスポーツです。さらには、職場でエレベーターを使わずあえて意識的に階段で上り下りすることや、皿洗いの家事などでこっそりつま先立ちしてエクササイズすることなど、仕事や家事などの日常生活における意識的・継続的な身体活動もスポーツであると言えます。

元々、スポーツという言葉は「気晴らしや遊び、楽しみ、休養」といった要素を指すラテン語が語源とされていることから、スポーツ庁が定義する「身体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすもの」ということを鑑みると、犬の散歩やガーデニング、レクリエーション等気晴らしや楽しみを目的として行う身体活動も「スポーツ」の範囲といえます。

本計画では、野球、サッカー等の競技種目から、レクリエーション活動、健康・美容のための散歩や体操等の軽い運動、徒歩や自転車による通勤や買い物等の日常生活における活動まで、**意識的・継続的に行う様々な身体活動のことを「スポーツ」として幅広く捉え、**これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでいただくことを目指します。

図表 本計画におけるスポーツの範囲



## 【Sports コラム】 = あなたが毎日行っている〇〇もスポーツかも？

本市における「スポーツ」とは意識的に行う幅広い身体活動と位置付けましたが、実は日々の生活の中で無意識のうちに行っている身体活動を、健康や体づくりのために体を動かそうと意識を持ってほんの少し負荷を強めるだけで「スポーツ」になるかもしれません。

静かに座って安静にしている状態を1とした時と比較して何倍のエネルギーを消費するかを数値化して把握することのできる「METs（メッツ）」という指標があります。

例えば「風呂掃除」は3.5 METsで「軽い筋トレ」と同等のエネルギーを消費します。「子どもと活発に遊ぶこと」は5.8 METsと「かなり速いウォーキング」よりも高い強度です。

このように、なにげない日常生活における身体活動を数値化してみると、思っていた以上にエネルギーを消費する活動があることがわかります。本市の市民アンケートの結果をみるとスポーツを実施しない主な理由の一つとして、「(運動に充てられる) 時間がないこと」が挙がっていますが、このように日常生活における各動作の消費エネルギーを知ると、スポーツをしていないと思っていた方も実は「スポーツ」をしていたことに気づくことができます。

「METs」を意識することで、日常生活の中でも無理なく自然な形でスポーツを続けることができます。さらに「楽しみながら」をプラスして心身ともに健康でいきいきとした毎日を過ごしましょう。

また、このMETsに体重や時間をかけることで消費カロリーが計算できます。皆さんの日常生活における行動に少し負荷を強めて METs を高めると何キロカロリー消費できるのか計算してみましょう！

**【計算式】 消費カロリー(kcal) = 体重(kg) × METs × 時間(h) × 1.05**

例えば、体重60kgの人が1時間ウォーキングをした場合、 $60\text{kg} \times 3\text{METs} \times 1\text{h} \times 1.05 = 189\text{kcal}$  消費することになります。

この他、活動時間の延伸も効果的です。厚生労働省では健康づくりのための国民向けガイドライン「+10（プラステン）」を示し、「今より10分多く体を動かそう」というメッセージを発信しています。「+10」を実行すること、さらに「+10」を1年間持続することの健康効果などがわかりやすく整理されています。

図表 身体活動のメッツ (METs) 表

生活活動	METs	運動活動
安静に座っている状態(1.0) デスクワーク(1.5)	1	
料理・洗濯(2.0)	2	ヨガ・ストレッチ(2.5)
犬の散歩(3.0) 掃除機かけ(3.3) 風呂掃除(3.5)	3	ウォーキング(3.5) 軽い筋トレ(3.5) スポーツボランティア (3.5)
自転車(4.0) ゆっくり階段を上る(4.0)	4	ラジオ体操第一(4.0) 水中ウォーキング(4.5)
子どもと活発に遊ぶ(5.8)	5	かなり速いウォーキング(5.0)
スコップで雪かきをする(6.0)	6	登山(6.5)
	7	ジョギング(7.0)
	8	サイクリング(8.0)

出典：「改定版『身体活動のメッツ(METs)表』」（国立健康・栄養研究所）より作図

## 5. スポーツの力

---

### スポーツという名の希望が復興の大きな力に

スポーツはそのものが楽しくておもしろいものです。スポーツをすることによる達成感や満足感、みることによる興奮や感動など、スポーツが持つ直接的な力を味わうことが、スポーツに関わることの最もシンプルな動機と言えます。

しかし、スポーツの持つ力は、これらの前向きな感情を引き出す瞬間的な効果だけに留まりません。スポーツをすることは、体力向上や健康の保持増進などの身体的な効能と、リラックスや気分転換などの精神的な効能の両面に作用し、心身の健全な発達という個人レベルへの広がりが期待されます。

さらに、スポーツによって市民の皆さんの健康が増進されると健康長寿社会の実現につながり、地域におけるスポーツ活動は人と人とのつながりを生み地域コミュニティの活性化にもつながります。さらにスポーツを通じて生まれた人々の活力は、経済活動の活性化へと波及し、まちのにぎわいを創出するといった社会レベルにまで広がることが期待されます。

このようにスポーツが持つ力は個人レベルへの作用のみならず、社会レベルで地域課題の解決方策、“手段”として活かすことができるものです。私たちは、東日本大震災からの復興の歩みの中で、スポーツの持つ大きな力が地域の一体感や活力を生み出す原動力・推進力となってきたことを経験してきました。これらはまさに前計画で本市の特徴的な柱であった「ひろがる」スポーツとして目指してきたものです。

図表 スポーツに期待される波及効果



## 6. 現計画での取り組み

現計画では、「する」「みる」「ささえる」「ひろがる」を基本目標に、様々な取り組みを展開してきました。

### する

- 仙台国際ハーフマラソンをはじめとする市民参加型イベントの開催
- マイタウンスポーツデー<sup>※3</sup>の開催
- 学区民体育振興会などの地域スポーツ団体の活動支援
- 元気はつらつチャレンジカード<sup>※4</sup> やトワイライト・パスによるスポーツ活動支援 など

### みる

- 大規模スポーツイベントの開催・誘致(全日本大学女子駅伝、実業団女子駅伝(クイーンズ駅伝)など)
- 本市に本拠地を置くプロスポーツ球団への地域密着支援 など

### ささえる

- 各地域スポーツ団体における指導者講習会の実施
- スポーツボランティアの養成講習会・マッチング企画の実施
- せんだいスポーツボランティアステーション<sup>※5</sup>の運営

### ひろがる

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機としたスポーツ機運の醸成
- スポーツコミッションせんだいを活用した大規模スポーツイベントの開催・誘致

## 7. 本市におけるスポーツの特徴・強み

### 多様な関係団体の存在や、アクセス性の高い観戦環境

スポーツへの関わり方は自身が活動することだけに留まりません。たとえば、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を夢中で観戦し自分との戦いに身を投じる一流アスリートの姿を応援することで心を震わせていた方も多いでしょう。大会ボランティアとして大会の成功を裏で支え大きな達成感を味わった方もいるかもしれません。このように、スポーツの「心を動かす力」はスポーツをする場面のみならず日常生活のあらゆる瞬間に、活力や感動を与えてくれるものなのです。

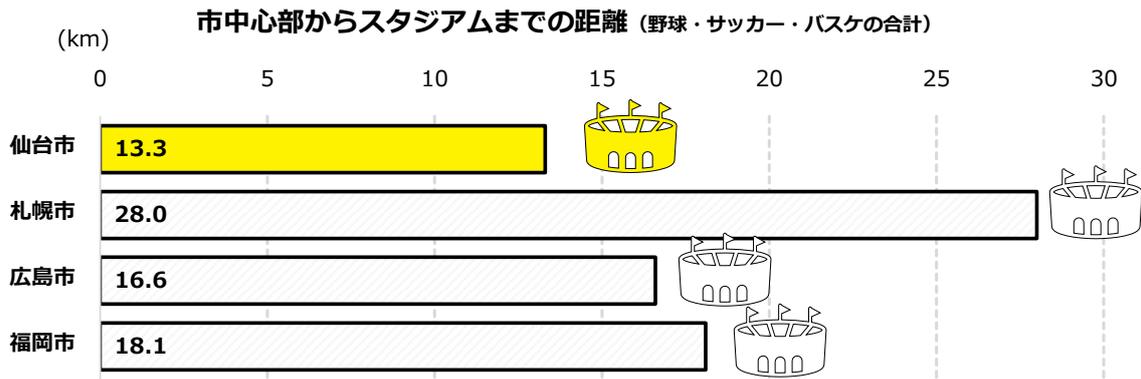
本市を取り巻くスポーツの環境は、学区民体育振興会等地域のスポーツ活動をけん引する団体や、大規模スポーツイベントを誘致するコミッション組織、それらイベントを支える活発なスポーツボランティア団体、市民を熱狂させてくれるプロチーム等、多くの組織・人材に恵まれています。また、観戦環境は同規模の政令市と比較してもアクセス性に強みを有しており、気軽にスポーツに触れることができる環境にあります。

これらは間違いなく本市ならではの強みであり、こうした強みは市民の皆さんの市政に対する評価にも表れ、本市の前基本計画において重点的に取り組む施策 47 項目のうち、スポーツ関連施策は評価する項目の上位に位置しています。

※3 10月「スポーツの日」に市スポーツ施設を無料開放し、各区スポーツ・レクリエーション祭の開催をはじめニュースポーツ・レクリエーションスポーツ体験会、体力測定等を実施している。

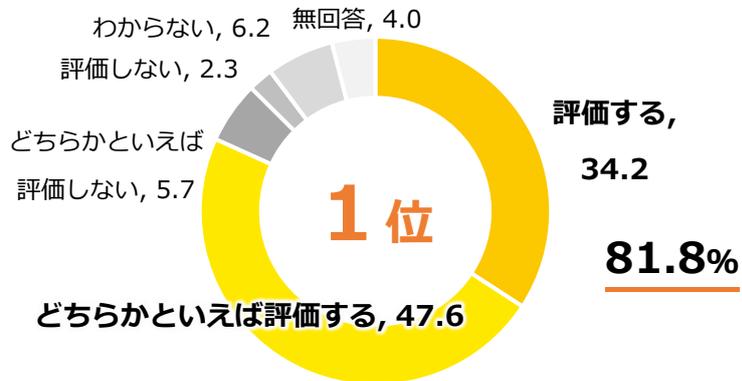
※4 市内のプール、体育館、武道館等を個人利用する65歳以上の方または豊齢カード(旧豊齢手帳)の交付を受けた方で希望者を対象に配布しているポイントカード。

※5 スポーツボランティアの募集・登録、スポーツイベントのボランティア情報の発信、スキルアップのための研修会や各種講演会を開催している。



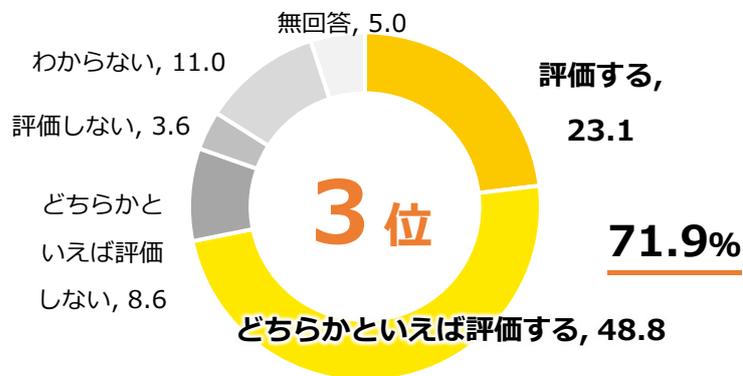
出典：googlemap にて各市役所からの直線距離を測定

### 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり (%)



出典：施策目標に関する市民意識調査報告書 (令和元年度、仙台市)

### プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり (%)



出典：施策目標に関する市民意識調査報告書 (令和元年度、仙台市)

## 8. スポーツを取り巻く環境

---

### ① 国の動向

#### ①-1 関連施策等の流れ

国では、平成 23（2011）年にスポーツ基本法の制定、平成 24（2012）年にスポーツ基本計画を策定し「スポーツ立国の実現」に向けた取り組みを進めています。平成 29（2017）年からの第 2 期スポーツ基本計画では、「スポーツの価値」を具現化するとともに、「スポーツ参画人口」を拡大し、障害者スポーツの振興やスポーツの成長産業化など、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしています。

また、平成 28（2016）年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略 2016」では、スポーツの成長産業化を図り、スポーツ市場規模を平成 27 年（2015）年の 5.5 兆円から令和 7（2025）年までに 15 兆円に拡大することを目指すことが掲げられました。平成 29（2017）年の「未来投資戦略 2017」では、スタジアム・アリーナ改革に関して、多様な世代が集う交流拠点として、地域コミュニティの中核として地域活性化の起爆剤になるよう、様々な支援策を政府横断的に講じることが示されました。

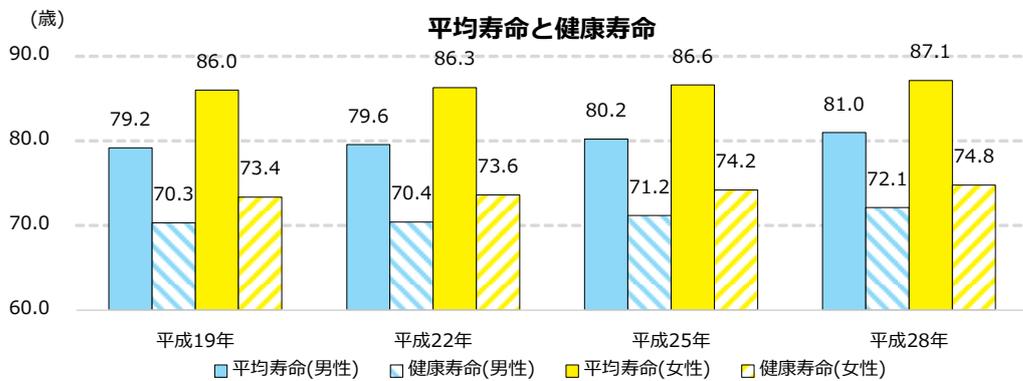
令和 4 年度からは、第 3 期スポーツ基本計画の運用が開始される見込みとなっており、第 2 期基本計画の考え方を踏襲しつつも、「新型コロナウイルス感染症の拡大」及び「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催」の 2 つの出来事によって、「スポーツ自体が有する価値」、「スポーツが社会活性化にもたらす価値」は、かけがえのないものであることが再確認されたとして、第 3 期計画では、これらの「スポーツの価値」をさらに発揮するための施策を展開するとしています。

## スポーツ・イン・ライフ

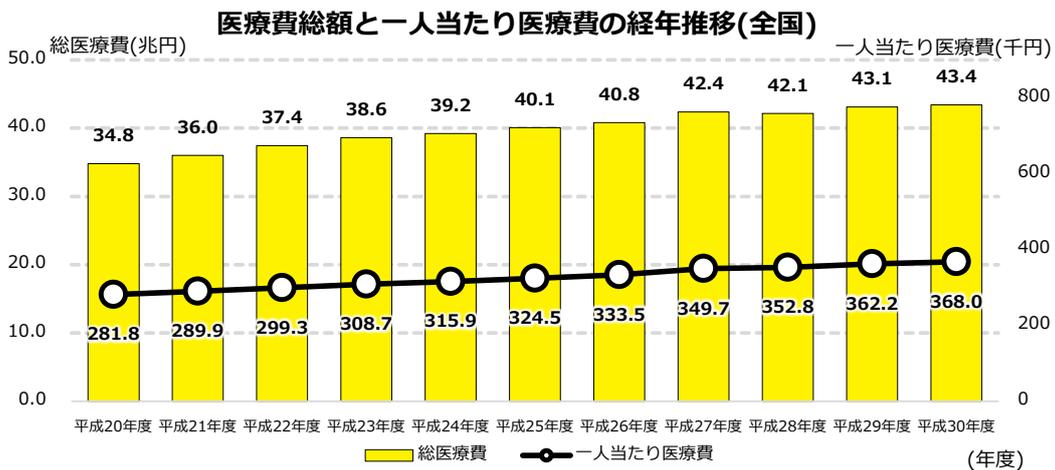
スポーツ庁は、スポーツ実施率向上のためには、スポーツ未実施層や関心がない層に対して、スポーツに対する心理的、物理的ハードルを下げ、スポーツをする気にさせる施策を実施し、その情報を的確に発信することが重要であるとしています。「Sports in Life プロジェクト」では、子ども、ビジネスパーソン、高齢者、障害者、女性など、ターゲットごとに施策や取り組みの方向性を示し、新たなアプローチを進めることで、一人でも多くの方がスポーツに親しむ、健康で活力ある社会の実現を目指して取り組みを進めています。

### 【Sports コラム】 = 健康寿命の変化

平成 28 年における日本人の男性の平均寿命は 81.0 年、女性の平均寿命は 87.1 年となり、いずれも過去最高を更新しました。同じく健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である健康寿命は男性で 72.1 年、女性で 74.8 年となっています。総医療費、一人当たりの医療とも増加傾向にあります。



出典：国民生活基礎調査(厚生労働省)、人口推計(総務省統計局)より算出



出典：国民健康保険事業年報(厚生労働省)

## 新たなスポーツ

野球やサッカー、バスケットボール等のこれまでの競技スポーツに加え、誰もが気軽に参加できる新たなアクティビティが「スポーツ」として捉えられはじめています。

「アーバンスポーツ」は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で採用され、盛り上がりを見せたスケートボードや自転車競技の一種である BMX フリースタイル、スポーツクライミング、バスケットボールから派生した 3 × 3 など、一般的に街中で行える競技が多く、ファッション性の高さから従前から若者に人気がありました。一方で、その名の通り「都市」の街中でできてしまうがゆえに他人への迷惑行為や騒音の発生といった社会問題と隣合わせの課題がありました。昨今の潮流を受け、「スポーツ」種目としての位置づけが確立されつつあることで、専用施設の増加や競技者のマナー向上等意識の変容が期待されます。

「e スポーツ」は、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。

大きな市場規模が期待され、インクルーシブスポーツ<sup>※6</sup>としての役割等も期待される存在ですが、国際的にも未だ「スポーツという言葉を使うことについてさらなる対話と研究が必要」と慎重な姿勢がとられています。国内においては、国民体育大会の文化プログラムとして e スポーツ大会が実施されています。

今後においても WHO が示す「ゲーム障害」等附帯するデメリットと併せて引き続き検討が必要です。

## スポーツの成長産業化に向けた技術の活用

昨今、スポーツとテクノロジーをかけあわせた「スポーツテック」という造語が誕生し、新たなスポーツビジネスの創出が進められています。たとえば AI<sup>※7</sup>を活用したデータ解析による競技力の向上は各種プロスポーツチームで導入されており、観戦においてもバスケットボールやサッカー、卓球等各種プロリーグで、インターネットを活用した映像配信に力を入れ、試合を楽しむためのテクノロジーを使った新たなコンテンツを創出しています。

※6 共生的な社会の実現に向けて障がいの有無や程度にかかわらず多様な人々が共に実施できるスポーツのこと。

※7 知的な機械、特に知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術。Artificial Intelligence の略称。

## スポーツツーリズム

地域活性化のための成長産業の要素として特に期待度が高いものが「スポーツツーリズム」です。スポーツを「観る（観戦）」「する（楽しむ）」ためだけではなく、こうした国内外の来訪者に対し、地域の魅力ある観光資源や、グルメ、産品、お土産等を紹介するなど、地域経済への波及効果の拡大を目指すものです。

今般は、体験性の高い「コト消費<sup>※8</sup>」として、「武道ツーリズム」や文化・芸術と融合した「スポーツ文化ツーリズム」等の新たなコンテンツの開発も進められています。

スポーツツーリズムは、スポーツ都市としてのブランドが地域内外からのスポーツ参加者による消費を誘導し、その消費によって生まれた収益がスポーツ関連施設等、都市の社会資本の蓄積につながり、さらにスポーツ都市としての魅力が向上するという好循環が期待されます。

### ①-2 スポーツに関わる出来事や潮流

#### 新型コロナウイルス

新型コロナウイルス感染症による社会活動の低下は、市民のスポーツ活動量も低下させており、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の心身の健康に影響を及ぼしています。同時に地域スポーツ活動も低調になっており、結果としてスポーツを通じた地域コミュニティの減衰等、地域社会の絆にも大きな影を落としています。

こうした状況の中、心身の健康の維持、地域コミュニティづくりのために、スポーツの必要性や重要性が再認識されるようになってきています。

オンライントレーニング等環境や状況の変化に応じた新たな手法・工夫によるスポーツの実施、大会・イベント等スポーツを楽しむ機会が制限された中で ICT<sup>※9</sup>の活用や AI・VR<sup>※10</sup>等の技術を活用して生み出された新しいスポーツの楽しみ方など、「新しい生活様式」の中では、スポーツを実施するうえで従来からの視点とともに社会情勢や環境の変化を柔軟に捉え、状況に応じたスポーツの参画・実施方法を創り出し、取り入れていく発想・視点が重要になります。

#### 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

新型コロナウイルス感染症の影響があるなかで開催された東京大会は、アスリート・観戦者・ボランティア等様々な立場で参画した人々、開催地である我が国をはじめとした世界中の人々に、スポーツの持つ「心を動かす力」や「楽しさ」といった本源的な価値を再確認させる大きな機会となりました。

新競技として加わった「アーバンスポーツ」の「挑戦する姿勢をたたえ合う様子」や「競技を楽しむ姿」等には共感が集まるとともに、大きな盛り上がりを見せました。

さらに、男女混合競技の実施や、多様な障害を持った選手たちが同じ競技・種目で競い合うことを可能にするルールの策定や見直し、個人やチームが自分に最もあったプレースタイルを考え実践する姿は、共生社会の実現への大きなヒントとなりました。

※8 魅力的なサービスや空間設計等によりデザインされた「時間」を顧客が消費すること。

※9 情報通信技術。information and communication technology の略称。

※10 仮想現実。Virtual Reality の略称。

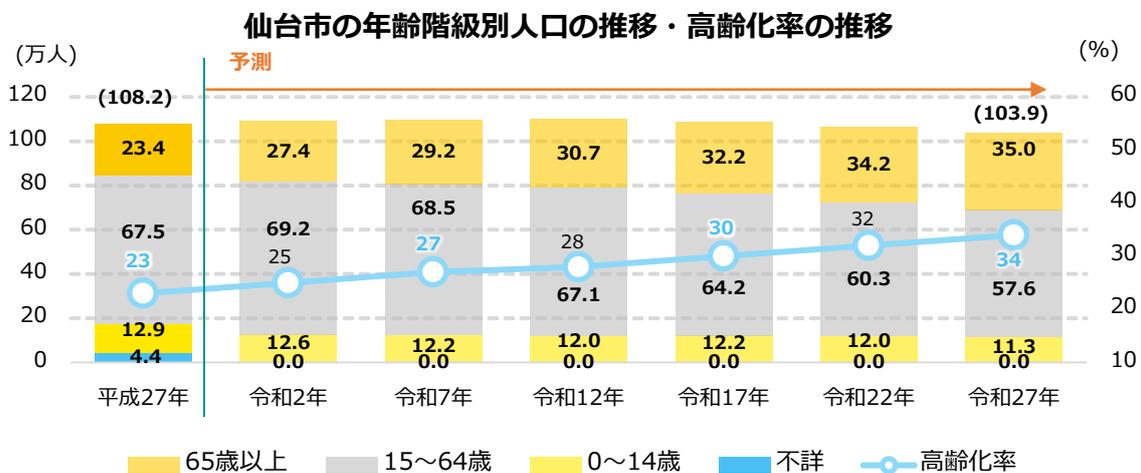
## ② 本市の動向

### ②-1 計画期間の人口推計

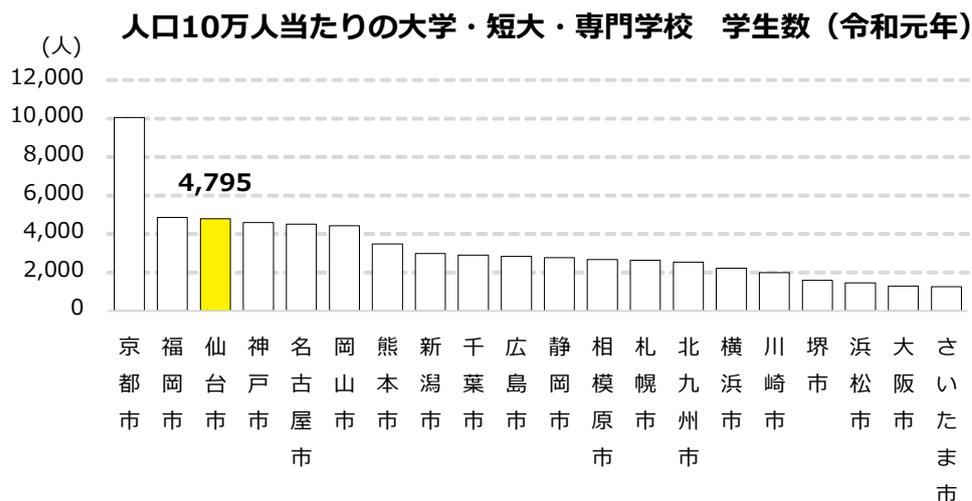
本市の人口は、平成 27（2015）年時点で 108.2 万人となっています。5 年刻みの将来人口をみると、令和 7（2025）年をピークに減少に転じ、令和 27（2045）年には 103.9 万人になると推計されています。

年齢階級別にみると 65 歳以上人口の増加が見込まれ、総人口に占める 65 歳以上人口の割合である高齢化率は令和 27 年（2045）年には 34%が 65 歳以上になると想定されています。

一方で、「学都仙台」と呼ばれる本市では、人口 10 万人当たりには占める大学生などの人数が 4,795 人と政令市の中で 3 番目に多い状況です。



出典：コーホート要因法による仙台市まちづくり政策局推計



出典：大都市比較統計年表(大都市統計協議会)(令和元年)

## ②-1 市民のスポーツへの関わりの実態

### 数値目標の達成状況

計画を着実に推進するための目安として、平成 24（2012）年の計画策定時に定め、平成 29（2017）年の見直しにおいて再設定した 6 つの具体的な数値目標の達成状況は以下のとおりです。

#### 15 歳以上の市民のうち、40.0%が週 1 回以上運動やスポーツを行うことを目指します。

週 1 回以上運動 やスポーツを行 う人の割合	36.4% (H22)	31.1% (H28)	<b>39.3%</b> (R2 実績) <b>40.0%</b> (目標)
-------------------------------	----------------	----------------	---

#### 15 歳以上の市民のうち、35.0%が市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加することを目指します。

市や地域のスポ ーツ団体などが 主催するスポー ツ行事等に参加 する人の割合	33.8% (H22)	22.8% (H28)	<b>18.7%</b> (R2 実績) <b>35.0%</b> (目標)
--	----------------	----------------	---

#### 15 歳以上の市民のうち、50.0%が年 1 回以上競技場でスポーツ観戦することを目指します。

年 1 回以上競技 場でスポーツ観 戦する人の割合	47.2% (H22)	44.6% (H28)	<b>40.3%</b> (R2 実績) <b>50.0%</b> (目標)
---------------------------------	----------------	----------------	---

#### 15 歳以上の市民のうち、8.0%がスポーツボランティアなどの協力活動を経験できる環境づくりを目指します

スポーツボラン ティアなどの協 力活動を行う人 の割合	5.5% (H22)	2.9% (H28)	<b>2.9%</b> (R2 実績) <b>8.0%</b> (目標)
--------------------------------------	---------------	---------------	---

#### 仙台市立小学校の児童（5 年生）のうち、65.0%が週 3 回以上運動やスポーツを行うことを目指します。

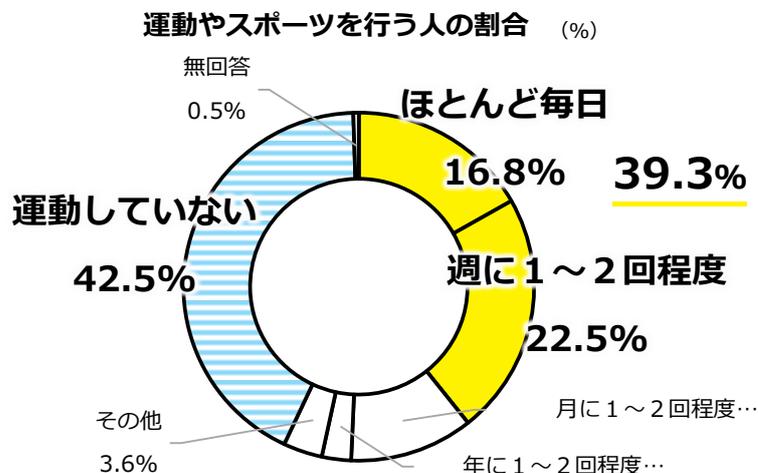
週 3 回以上運動 やスポーツを行 う児童の割合 (学校の体育の 授業を除く)	48.0% (H22)	64.6% (H28)	<b>51.9%</b> (R2 実績) <b>65.0%</b> (目標)
---	----------------	----------------	---

#### 全国・国際規模のスポーツ大会を年 8 回以上開催することを目指します。

全国・国際規模の スポーツ大会の 開催数	年 5 回 (H22)	年 5 回 (H28)	<b>年 14 回</b> (R1 実績) <b>年 8 回</b> (目標)
----------------------------	----------------	----------------	--

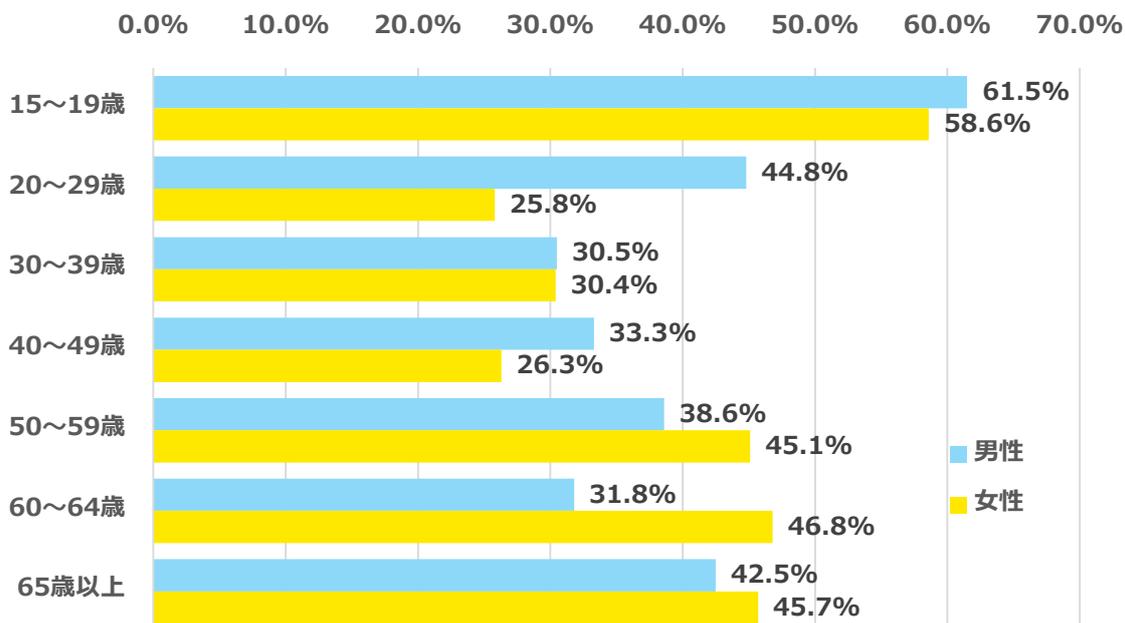
## 市民のスポーツ実施状況

週1回以上、運動やスポーツを行う市民の割合は39.3%で、男性の30～64歳、女性の20～49歳までは他の年代よりスポーツを行っている割合が低く、スポーツを行わなかった理由で多くあげられたのは、「時間がないから」「機会がないから」でした。



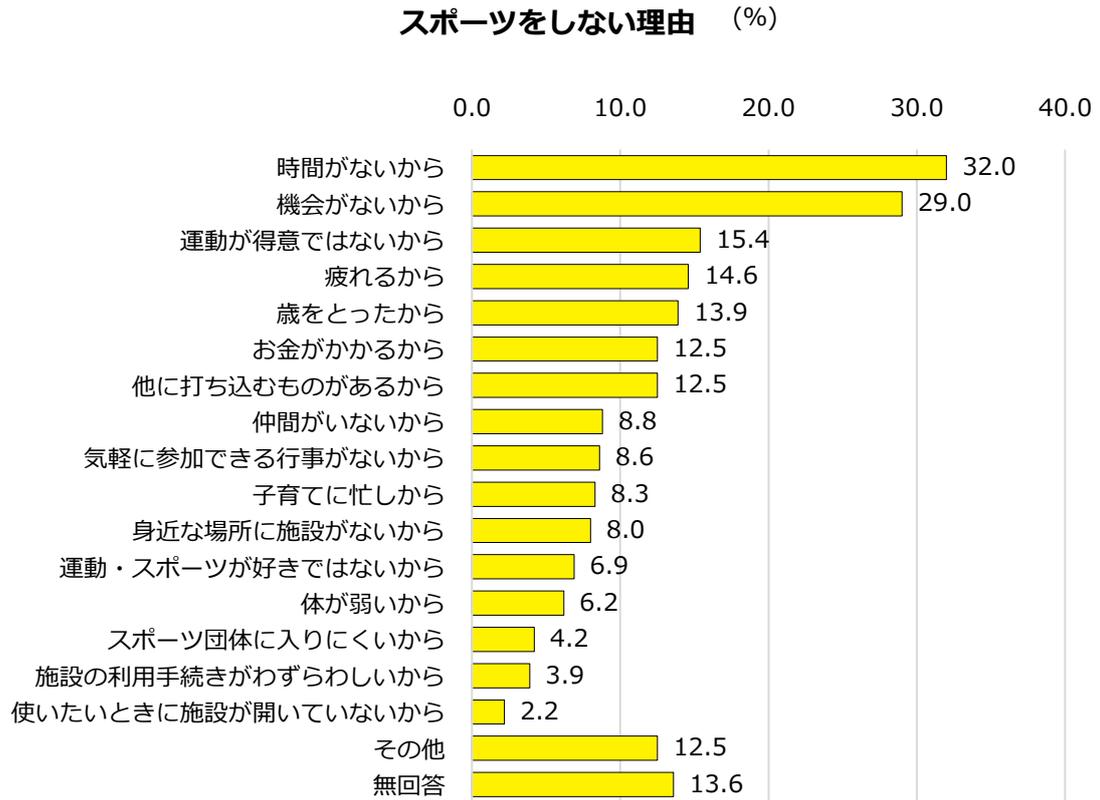
出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」(仙台市)より作図

## 週1回以上運動やスポーツを行う市民の割合



出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」(仙台市)より作図

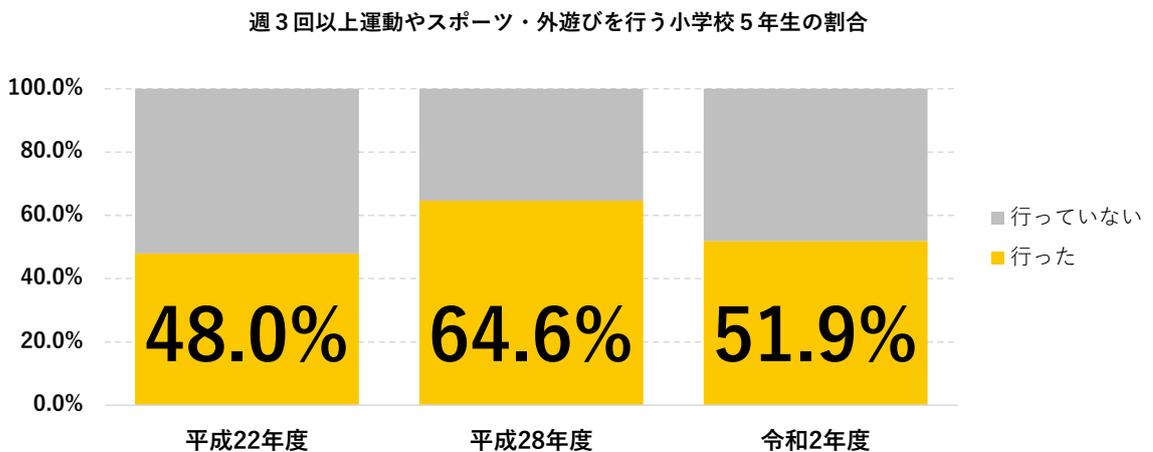
図表 スポーツをしない理由



出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」（仙台市）より作図

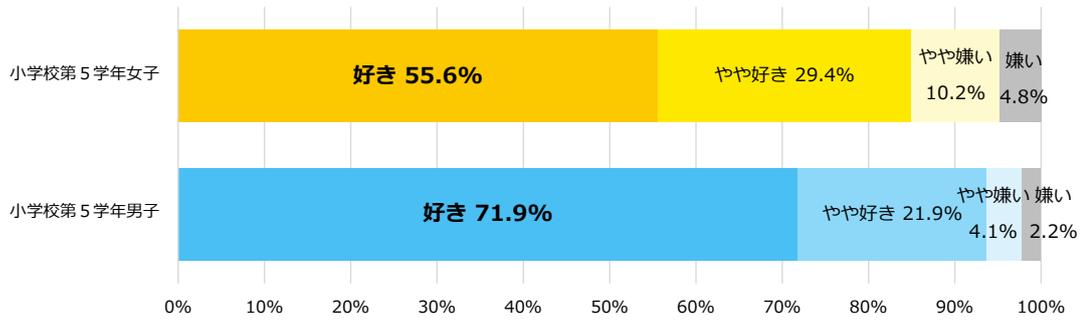
## 子どものスポーツ実施状況

週3回以上、運動やスポーツ・外遊びを行った小学校5年生の児童の割合は51.9%、運動やスポーツ・外遊びをすることが好きな児童の割合は63.8%でした。また、運動やスポーツ・外遊びをもっとしたい児童の割合は56.1%でした。



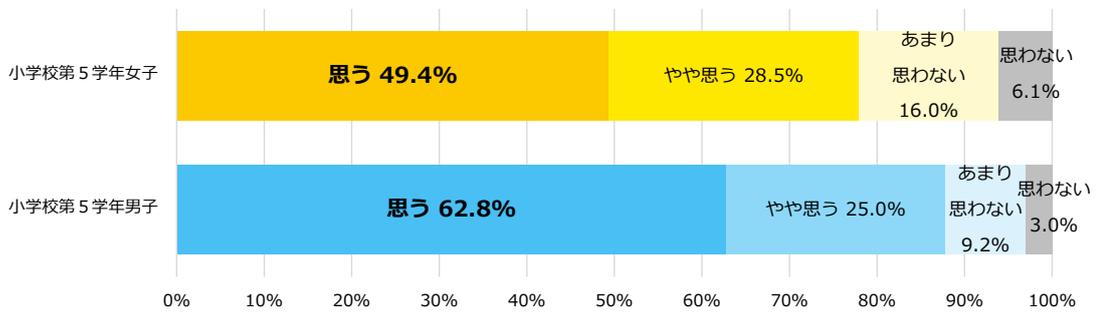
出典：令和2年度健康に関する調査（仙台市）

運動やスポーツ・外遊びをすることへの思い (R2)

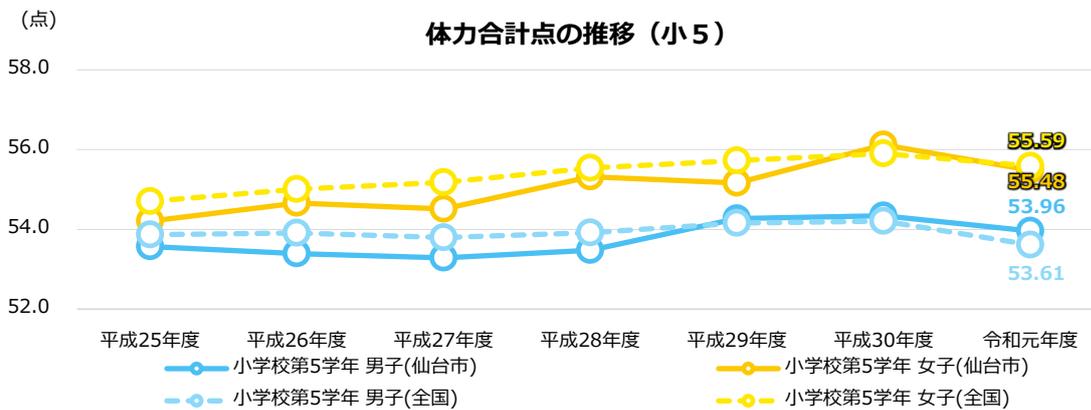


出典：令和2年度健康に関する調査（仙台市）

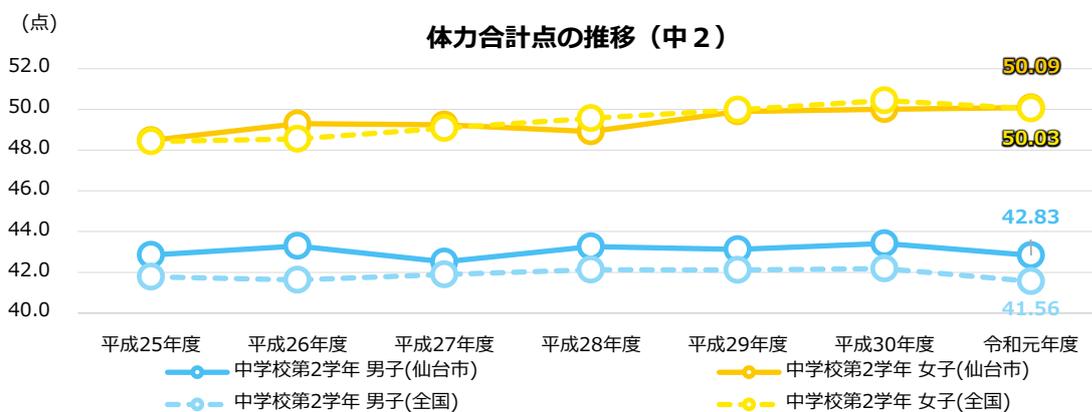
運動やスポーツ・外遊びをもっとしたいと思うか (R2)



出典：令和2年度健康に関する調査（仙台市）



出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(スポーツ庁)

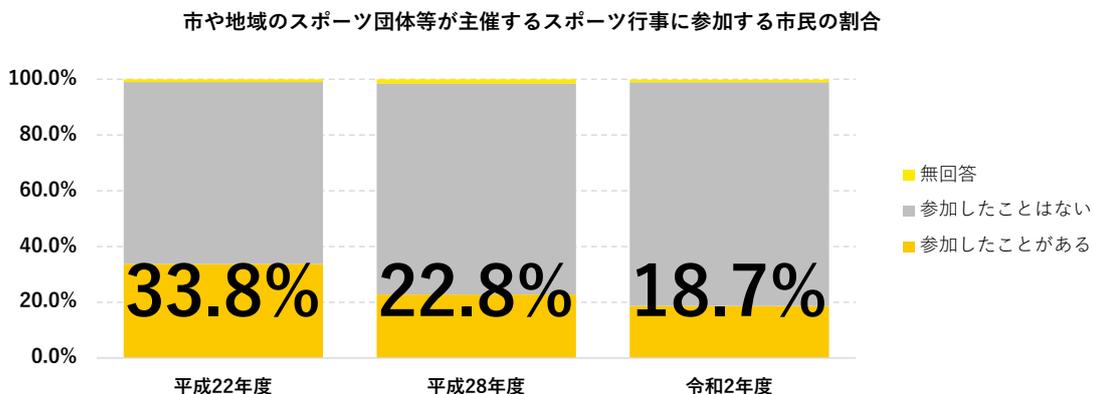


出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(スポーツ庁)

※ 体力合計点：各種目の記録を、男女別・校種別に異なる種目別得点表を用い1～10点に得点化したものの合計点で、他の校種および男女との間での単純な比較はできない。

## 地域スポーツ参加状況

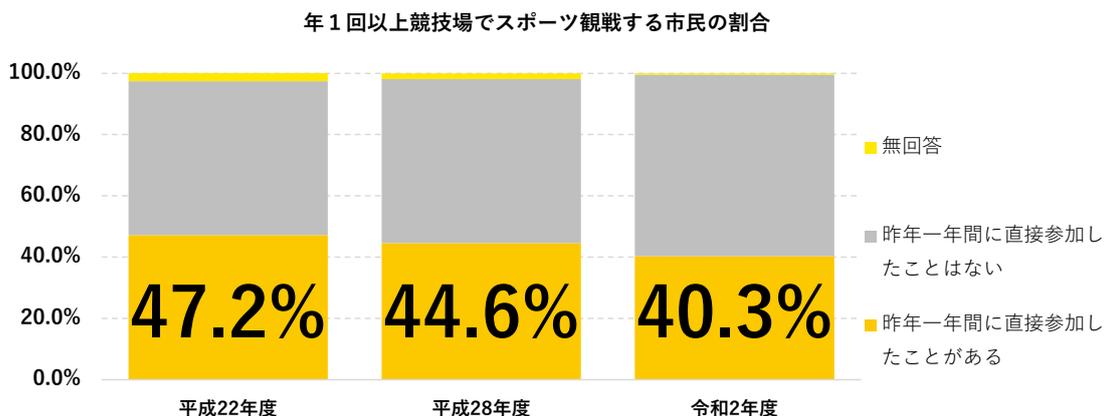
市や地域のスポーツ団体が主催する行事への参加率は減少傾向にあり、令和2（2020）年には18.7%となっています。



出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」（仙台市）より作図

## スポーツ観戦状況

年1回以上競技場で直接スポーツ観戦をしたことがある割合は減少傾向にあり、令和2（2020）年度には40.3%となっています。

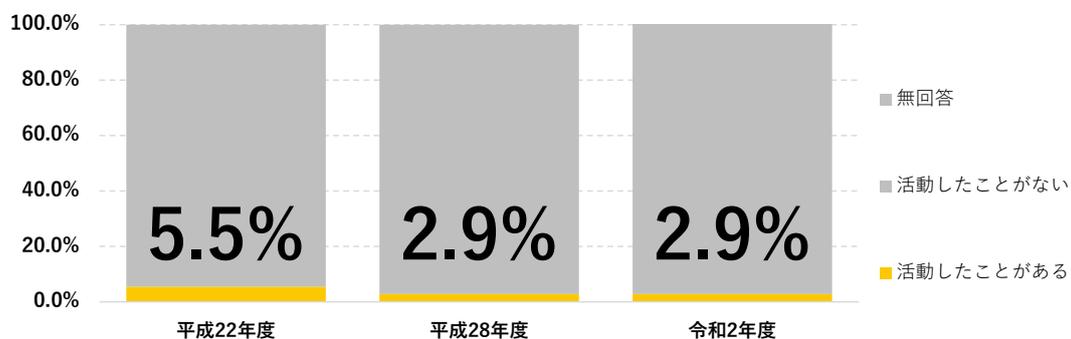


出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」（仙台市）より作図

## ボランティア参加状況

年1回以上スポーツボランティア活動をしたことがある割合は低い水準で推移しており、令和2（2020）年度には2.9%となっています。

スポーツボランティア等の協力活動を行う人の割合



出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」（仙台市）より作図



CHAPTER  
02

## 目指す姿

### 1. 目指す姿

---

## “人とまちが元気に輝き続ける – Sports City SENDAI –”

---

スポーツに親しみ、楽しむことには、体を動かすといった爽快感だけではなく、心身の健康を育むとともに、スポーツを通じて人と人がつながることで地域の一体感が醸成されるなど、人やまちを元気に明るくする力があります。

また、プロスポーツやトップアスリートのパフォーマンス、大規模なスポーツイベントは、感動や興奮、熱狂を生み出すなど、多くの人々を惹きつける魅力的なコンテンツであり、まちに活力や賑わいをもたらします。

こうしたスポーツの力は、私たちの生活の質の向上に貢献するとともに、東日本大震災からの復興においても、仙台の人とまちに大きな希望や勇気をもたらしてきました。

社会を取り巻く環境が大きく変化する中であっても、仙台の人とまちが、未来へ向けて元気に輝き続けるために、スポーツの持つ力を最大限に活かすことで、「子どもから高齢者まで全ての市民が楽しく元気に暮らせるまち」、「人と人がつながり、ともに支えあう、健康で心豊かな暮らしを育むまち」、「人が集い、賑わう、活力のあるまち」の実現を目指します。

CHAPTER  
03

## 基本方針

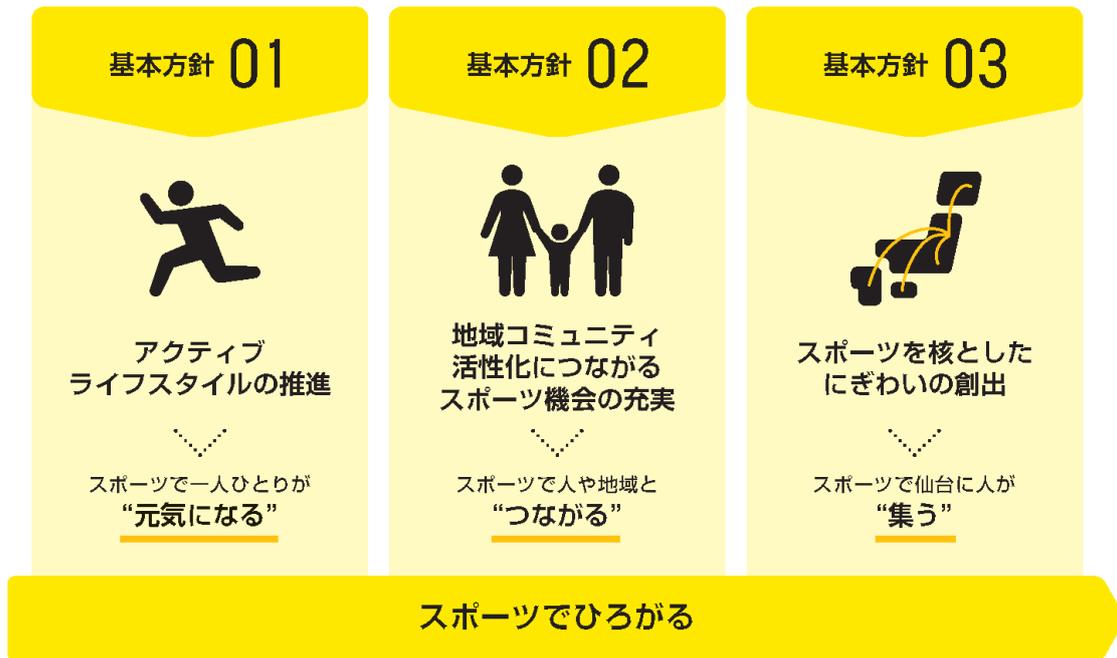
### 1. 基本方針

## 1. 基本方針

以下のとおり3つの基本方針を掲げ「人とまちが元気に輝き続ける -Sports City SENDAI-」の実現に向けて取り組んでいきます。

なお、本計画に基づき展開する各施策はSDGsの考え方を意識して進めます。

図表 実施方針



### アクティブライフスタイル

本市では、健康づくりや美容のため等、日常生活の中で意識的・継続的に体を動かすことが習慣化された生活様式を「アクティブライフスタイル」として積極的に推進します。例えば、WHOは、「運動はどのような形でもよく、仕事や移動の最中、レジャー活動や遊びの中、さらにはガーデニングや掃除といった日常生活の中でも実施可能である」としています。通勤手段や買い物を自家用車から自転車にする、犬の散歩がてらジョギングを行う、電車やバスを一駅手前で降りて歩く、エレベーターをやめて階段を使用する等、意識的かつアクティブに体を動かしましょう！



## 【Sports コラム】 = SDGs を意識した施策の推進

SDGs とは、2015 年 9 月に国連サミットで採択された 2030 年までの持続可能な開発目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

また、同アジェンダにおいて、「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。」と述べられており、本計画においても「スポーツの力」を意識しながら、SDGs の主旨を踏まえ、持続可能な未来へ向けて、各施策の推進に取り組んでいきます。



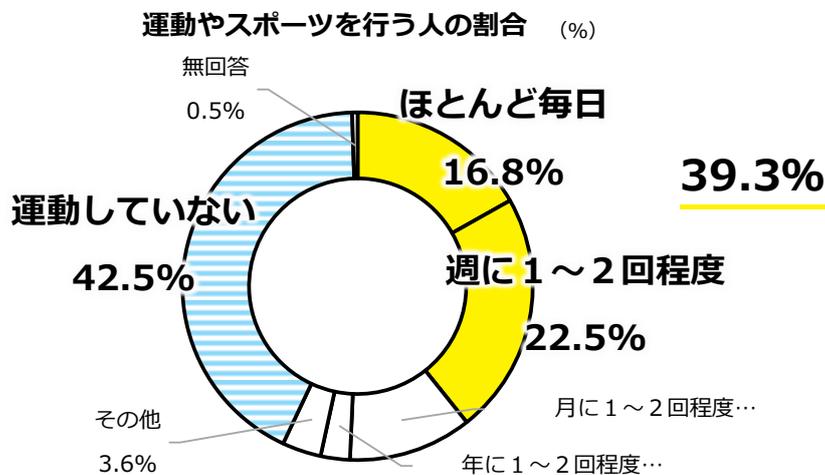
SDGs アイコン (出典：国際連合)



## <基本方針 1> アクティブライフスタイルの推進 スポーツで一人ひとりが“元気になる”

スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で楽しみ、喜びを得ることは、心身の健康増進や生きがいに満ちた豊かな生活の実現につながります。アクティブライフスタイルの推進により、楽しみや健康づくり等、市民一人ひとりが自分に合った形で意識的に体を動かすことによって、毎日の生活がより楽しく充実したものになるよう、それぞれのライフスタイル、スポーツへの関心や取り組みの度合いに応じた施策を展開します。

現在、本市においては、スポーツを「する人」と「しない人」の二極化が顕著です。スポーツをしない主な理由として「時間がないから」や「機会がないから」等が挙げられていることから、ライフスタイルやスポーツへの関心や、取り組みの度合いに応じてスポーツに親しめるよう意欲を高めるとともに、誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しむことのできる環境づくりを進めます。特に、生涯にわたる豊かなアクティブライフスタイルの基礎づくりとしての子どものスポーツ推進や、高齢者や障害者が無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるスポーツ環境の充実を図ります。



出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」(仙台市)より作図

図表 基本方針1に対応するSDGsアイコン



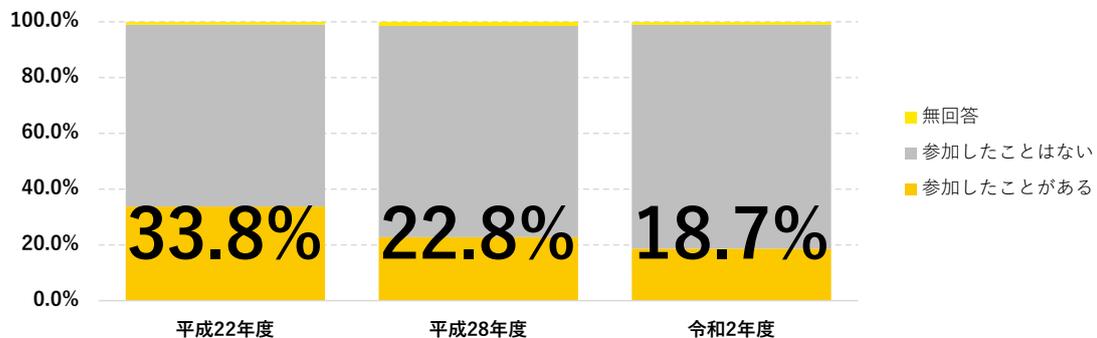


## ＜基本方針 2＞ 地域コミュニティ活性化につながるスポーツ機会の充実 スポーツで人や地域と“つながる”

スポーツは、様々な立場や状況の人々が、楽しみや喜びを分かち合い、感動を共有するなど、ともに活動し、つながりを感じながら楽しめるものです。人と人の絆を培うスポーツの力による新たな交流の創出や、ともに支え合う一体感ある地域社会の実現に向け、身近なところで気軽に参加しやすいスポーツ機会の充実を図り、スポーツを通じた地域内交流やコミュニティの活性化を目指します。

現在、本市においては、地域のスポーツ行事に参加する人の数が減少傾向にあります。行事に参加しない主な理由として「知らなかったから」や「地域交流があまりないから」があげられていることから、まずは、地域スポーツ活動への参加につながる“きっかけ”をつくり、さらに継続して参加してもらえるよう、多様な主体と連携を図りながら、身近なところで気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

市や地域のスポーツ団体等が主催するスポーツ行事に参加する市民の割合



出典：「令和2年度スポーツに関する市民意識調査」（仙台市）より作図

図表 基本方針 2 に対応する SDGs アイコン





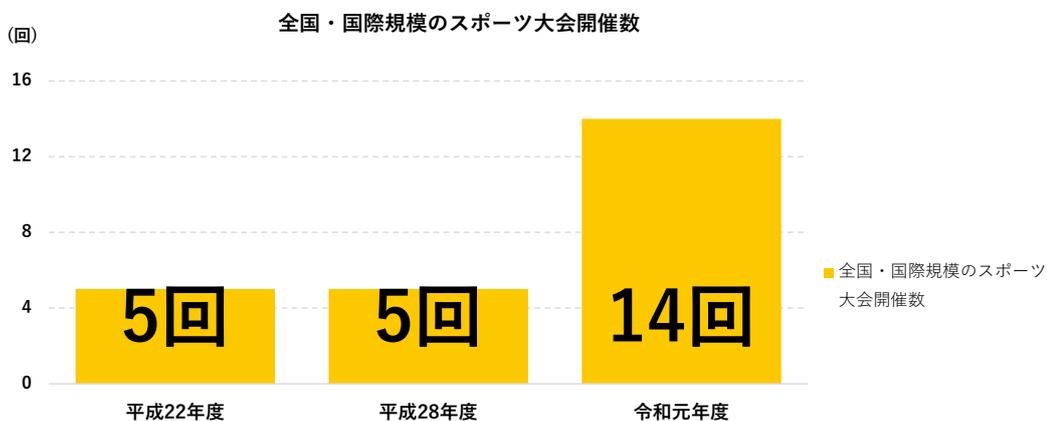
### 〈基本方針 3〉 スポーツを核としたにぎわいの創出 スポーツで仙台に人が“集う”

プロスポーツやトップアスリートのパフォーマンス、大規模なスポーツイベントは、感動や興奮、熱狂を生み出すなど、多くの人々を惹きつける魅力的なコンテンツであり、人とまちに大きな希望や勇気、元気をもたらします。本市ならではの多様な資源を効果的に活用した大規模スポーツ大会・イベントの開催・誘致やスポーツツーリズムの推進など、スポーツを通じて本市のブランド力をさらに高めることで、交流人口の拡大や、まちの賑わい創出を目指します。

近年、本市における大規模大会等スポーツ関連イベントの開催数は増加しています※。増加が堅調な要因として、平成26年に設立したスポーツコミッションせんだいによる積極的な誘致活動が実を結んでいることが挙げられます。

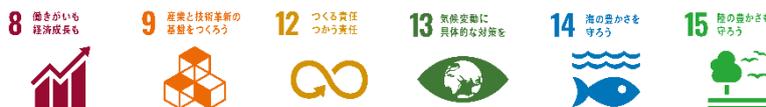
今後も、大規模なスポーツイベントの開催・誘致への取り組みを積極的に進めるとともに、本市のさらなる賑わいや経済効果創出へと結びつけるために、スポーツに本市の多彩な資源を掛け合わせたスポーツツーリズムを推進し、本市の新たな魅力や価値の創出を図ることを目指します。

※新型コロナウイルス感染症拡大前までの推移



令和2年度仙台市スポーツ振興課資料

図表 基本方針3に対応するSDGsアイコン



CHAPTER  
04

## 施策の展開

1. 施策の展開
2. 関係部局間の連携

## 施策の展開

### 1. 施策の展開

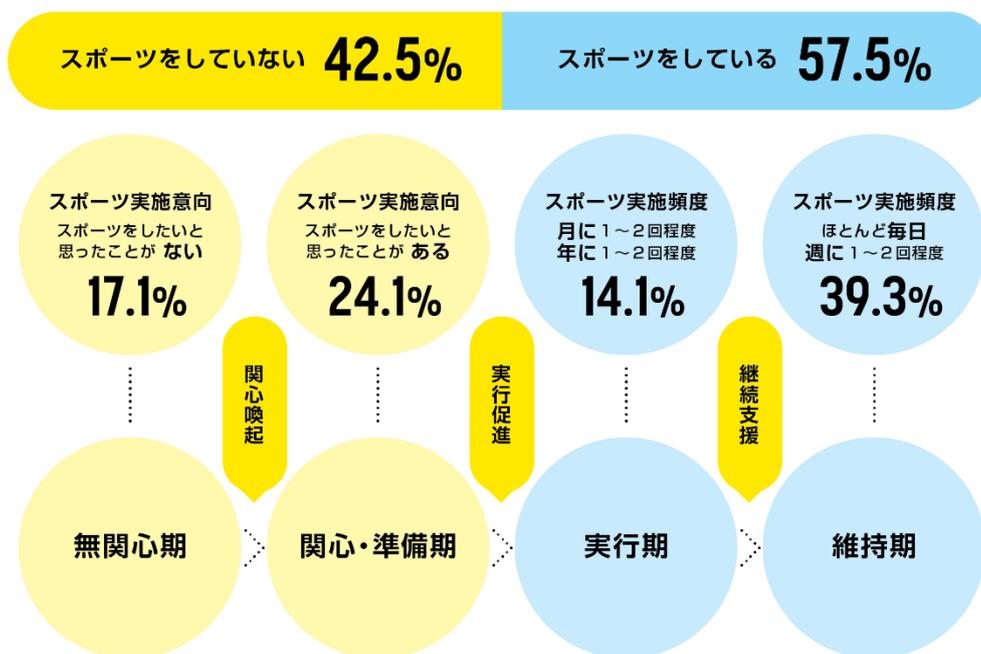
3つの基本方針に対するスポーツ施策を、「する」「みる」「ささえる」の観点から整理するとともに、市民意識調査の結果を踏まえて市民一人ひとりの実態・実情、スポーツに対する関心や取り組みの度合いに応じた効果的な施策を展開していきます。

図表 スポーツに対する関心の度合いに応じた施策の展開（アクティブライフスタイルの推進の場合の例）



#### 市民意識調査

〔例：スポーツに対する関心や取り組みの度合いに応じた施策の展開〕



※数値はR2「スポーツに関する意識調査」結果より  
※「その他」「無回答」は含まないため合計しても100%にならない

### 2. 関係部局間の連携

施策の展開にあたっては、関係部局間の連携を図り、スポーツを取り巻く情勢の変化に対応した、効果的で厚みのある事業を展開します。

CHAPTER  
05

## 施策

1. 体系図
2. 施策の整理
3. 施策

1. 体系図

目指す姿	基本方針	基本施策
<p>人とまちが元気に輝き続ける Sports City SENDAI</p>	<p>基本方針1 アクティブ ライフスタイル の推進</p>	1-1 スポーツに親しむ意欲の喚起※重点施策
		1-2 子どものスポーツ推進※重点施策
		1-3 高齢者や障害者がスポーツに参画しやすい環境 づくりの推進※重点施策
		1-4 女性のスポーツ参加促進
		1-5 ビジネスパーソンのスポーツ推進
		1-6 身近にスポーツができる場所・機会の充実
		1-7 スポーツに関わる人材の育成と活動の場の確保
		1-8 トップアスリート等との連携・支援
	<p>基本方針2 地域コミュニティ 活性化につながる スポーツ機会の充実</p>	2-1 地域スポーツ活動への興味・関心の喚起
		2-2 地域スポーツ活動の機会創出※重点施策
		2-3 地域スポーツ活動の担い手支援
	<p>基本方針3 スポーツを核とした にぎわいの創出</p>	3-1 本市スポーツイベント等への興味・関心の喚起
		3-2 スポーツツーリズムの推進※重点施策
		3-3 スポーツを魅せる環境づくり
		3-4 新たなスポーツ産業等との連携
3-5 スポーツボランティアの育成・支援		

## 施策の内容

① スポーツの楽しみ方や効果等の情報発信	
② スポーツをするきっかけづくり	
③ 誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催	
① 親子で体を動かすきっかけづくり	④ 食育の推進
② 子どもが遊ぶ・スポーツを体験する機会の創出	⑤ 学校体育の充実
③ 子どもの健康な体づくりと体力・運動能力向上の推進	⑥ 運動部活動の充実
	⑦ 競技活動支援
① 高齢者のスポーツ活動支援	
② 障害の有無に関わらず、誰でも楽しめるインクルーシブスポーツの普及・促進	
③ 障害者スポーツの普及促進・活動支援	
④ スポーツ施設のユニバーサルデザイン化等の推進	
① 女性のライフステージやライフスタイルに合わせたスポーツメニューの提案	
② 女性のスポーツ参加をサポートする環境づくり	
③ 親子で体を動かすことができるイベントの開催	
④ 女性の継続的なスポーツ実施に向けた支援	
① 気軽にスポーツに取り組める環境づくりに向けたプロモーション活動の実施	
② ビジネスパーソンへのスポーツ施設利用促進	
③ ビジネスパーソンへのスポーツ活動機会の充実	
④ 親子で体を動かすことができるイベントの開催【再掲】	
① スポーツ施設やスポーツイベント等に関する情報発信	④ 広告収入等を活用したスポーツ施設の充実
② 市民ニーズに応じた施設サービスの充実	⑤ 身近なところで体を動かせる空間づくり
③ 施設機能の維持・向上	
① スポーツ指導者等の養成・資質向上	
② アスリートや地域スポーツ指導者等を効果的に活用する仕組みの検討	
③ スポーツ活動に貢献した人の表彰	
① プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等と連携する仕組みの創出	
② 本市ゆかりのアスリートが活躍する場の創出	
③ アスリートの競技活動支援	
④ 優秀な成績を収めたアスリートの表彰	
① 地域スポーツ団体の活動紹介やスポーツイベント等の情報発信	
② プロ・トップスポーツチームや学生等と連携したスポーツ情報・魅力の発信	
① プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等との連携による地域スポーツ活動の機会創出	
② 市民参加型の多様なスポーツ・レクリエーション大会やイベントの開催	
③ 地域スポーツ・レクリエーション活動のイベント開催支援	
① 地域スポーツ団体の活動支援	
② スポーツ活動に貢献した団体の表彰	
③ 地域スポーツ団体の活動のあり方に関する検討	
① 本市のスポーツ大会やイベント等の情報発信	
② 本市ゆかりのアスリートやプロ・トップスポーツチームとの連携・協働による応援機運の醸成	
① スポーツコミッションせんだいと一体となった大規模スポーツイベントの開催・誘致	④ アーバンスポーツの振興
② プロ・トップスポーツチームとの連携による誘客促進	⑤ 本市スポーツツーリズムのブランディング化に向けた調査・検討
③ アウトドアアクティビティの活用	⑥ スポーツコミッションせんだいの機能強化
① 様々なスポーツ競技の紹介	
② 誰もが観戦したくなる・観戦しやすいスポーツ環境の整備	
③ スポーツレガシーの保存・活用	
① スポーツにおけるデジタル技術の活用やeスポーツ等新たなスポーツ産業との連携に関する検討	
② 医学と連携したスポーツ障害の予防、スポーツ医学を活用した健康づくり・体力づくりの推進	
① スポーツボランティア活動への関心喚起	
② スポーツボランティアの養成	
③ スポーツボランティアの活動機会の創出	

## 2. 施策の整理



### ＜基本方針 1＞ アクティブライフスタイルの推進 スポーツで一人ひとりが“元気になる”

No.	施策	する	みる	ささえる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
<b>基本施策 1-1 スポーツに親しむ意欲の喚起※重点施策</b>							
1-1-①	スポーツの楽しみ方や効果等の情報発信	○	○	○	○		
1-1-②	スポーツをするきっかけづくり	○	○	○	○	○	
1-1-③	誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催	○	○	○	○	○	
<b>基本施策 1-2 子どものスポーツ推進※重点施策</b>							
1-2-①	親子で体を動かすきっかけづくり	○			○	○	
1-2-②	子どもが遊ぶ・スポーツを体験する機会の創出	○			○	○	
1-2-③	子どもの健康な体づくりと体力・運動能力向上の推進	○				○	○
1-2-④	食育の推進	○				○	○
1-2-⑤	学校体育の充実	○				○	○
1-2-⑥	運動部活動の充実	○				○	○
1-2-⑦	競技活動支援	○					○
<b>基本施策 1-3 高齢者や障害者がスポーツに参画しやすい環境づくりの推進※重点施策</b>							
1-3-①	高齢者のスポーツ活動支援	○				○	○
1-3-②	障害の有無に関わらず、誰でも楽しめるインクルーシブスポーツの普及・促進	○			○	○	
1-3-③	障害者スポーツの普及促進・活動支援	○			○	○	○
1-3-④	スポーツ施設のユニバーサルデザイン化等の推進	○	○	○		○	○
<b>基本施策 1-4 女性のスポーツ参加促進</b>							
1-4-①	女性のライフステージやライフスタイルに合わせたスポーツメニューの提案	○			○		
1-4-②	女性のスポーツ参加をサポートする環境づくり	○				○	
1-4-③	親子で体を動かすことができるイベントの開催	○				○	
1-4-④	女性の継続的なスポーツ実施に向けた支援	○					○

No.	施策	する	みる	ささえる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
<b>基本施策 1-5 ビジネスパーソンへのスポーツ推進</b>							
1-5-①	気軽にスポーツに取り組める環境づくりに向けたプロモーション活動の実施	○			○		
1-5-②	ビジネスパーソンへのスポーツ施設利用促進	○				○	○
1-5-③	ビジネスパーソンへのスポーツ活動機会の充実	○				○	○
1-5-④	親子で体を動かすことができるイベントの開催【再掲】	○				○	
<b>基本施策 1-6 身近にスポーツができる場所・機会の充実</b>							
1-6-①	スポーツ施設やスポーツイベント等に関する情報発信	○			○		
1-6-②	市民ニーズに応じた施設サービスの充実	○				○	○
1-6-③	施設機能の維持・向上	○				○	○
1-6-④	広告収入等を活用したスポーツ施設の充実	○				○	○
1-6-⑤	身近なところで体を動かせる空間づくり	○				○	○
<b>基本施策 1-7 スポーツに関わる人材の育成と活動の場の確保</b>							
1-7-①	スポーツ指導者等の養成・資質向上			○		○	○
1-7-②	アスリートや地域スポーツ指導者等を効果的に活用する仕組みの検討			○		○	○
1-7-③	スポーツ活動に貢献した人の表彰			○		○	○
<b>基本施策 1-8 トップアスリート等との連携・支援</b>							
1-8-①	プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等と連携する仕組みの創出	○		○	○	○	
1-8-②	本市ゆかりのアスリートが活躍する場の創出	○	○	○	○		○
1-8-③	アスリートの競技活動支援	○					○
1-8-④	優秀な成績を収めたアスリートの表彰	○					○



**＜基本方針 2＞**  
**地域コミュニティ活性化につながるスポーツ機会の充実**  
**スポーツで人や地域と“つながる”**

No.	施策	する	みる	ささえる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
<b>基本施策 2-1 地域スポーツ活動への興味・関心の喚起</b>							
2-1-②	地域スポーツ団体の活動紹介やスポーツイベント等の情報発信	○			○		
2-1-②	プロ・トップスポーツチームや学生等と連携したスポーツ情報・魅力の発信	○			○		
<b>基本施策 2-2 地域スポーツ活動の機会創出※重点施策</b>							
2-2-①	プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等との連携による地域スポーツ活動の機会創出	○			○	○	
2-2-②	市民参加型の多様なスポーツ・レクリエーション大会やイベントの開催	○			○	○	
2-2-③	地域スポーツ・レクリエーション活動のイベント開催支援	○				○	○
<b>基本施策 2-3 地域スポーツ活動の担い手支援</b>							
2-3-①	地域スポーツ団体の活動支援			○			○
2-3-②	スポーツ活動に貢献した団体の表彰			○			○
2-3-③	地域スポーツ団体の活動のあり方に関する検討			○			○



## ＜基本方針 3＞ スポーツを核としたにぎわいの創出 スポーツで仙台に人が“集う”

No.	施策	する	みる	ささえる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
<b>基本施策 3-1 本市スポーツイベント等への興味・関心の喚起</b>							
3-1-①	本市のスポーツ大会やイベント等の情報発信	○	○		○		
3-1-②	本市ゆかりのアスリートやプロ・トップスポーツチームとの連携・協働による応援機運の醸成		○	○	○		
<b>基本施策 3-2 スポーツツーリズムの推進※重点施策</b>							
3-2-①	スポーツコミッションせんだいと一体となった大規模スポーツイベントの開催・誘致	○	○	○	○	○	
3-2-②	プロ・トップスポーツチームとの連携による誘客促進	○	○		○	○	
3-2-③	アウトドアアクティビティの活用	○			○	○	
3-2-④	アーバンスポーツの振興	○	○		○	○	
3-2-⑤	本市スポーツツーリズムのブランディング化に向けた調査・検討	○	○				○
3-2-⑥	スポーツコミッションせんだいの機能強化	○	○	○			○
<b>基本施策 3-3 スポーツを魅せる環境づくり</b>							
3-3-①	様々なスポーツ競技の紹介		○		○		
3-3-②	誰もが観戦したくなる・観戦しやすいスポーツ環境の整備		○			○	○
3-3-③	スポーツレガシーの保存・活用		○	○	○	○	○
<b>基本施策 3-4 新たなスポーツ産業等との連携</b>							
3-4-①	スポーツにおけるデジタル技術の活用や e スポーツ等新たなスポーツ産業との連携に関する検討	○	○	○	○	○	○
3-4-②	医学と連携したスポーツ障害の予防、スポーツ医科学を活用した健康づくり・体力づくりの推進	○		○	○	○	○
<b>基本施策 3-5 スポーツボランティアの育成・支援</b>							
3-5-①	スポーツボランティア活動への関心喚起			○	○		
3-5-②	スポーツボランティアの養成			○		○	
3-5-③	スポーツボランティアの活動機会の創出			○		○	○

### 3. 施策



#### ＜基本方針 1＞ アクティブライフスタイルの推進 スポーツで一人ひとりが“元気になる”

##### 施策 1-1 スポーツに親しむ意欲の喚起【重点施策】

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」様々な形で誰もが気軽に楽しめるものです。生活の中で意識的に体を動かすことの大切さや、朝の体操やウォーキング、階段昇降等、日常生活のちょっとした活動もスポーツであること、楽しく適切にスポーツを継続することが生活の充実度の向上につながるということを積極的に発信していきます。

さらに、アスリートの活躍を観戦し応援するといった「みる」「ささえる」ことから感動や勇気をもたらすことなども含めて「スポーツは生活の中にあるもの」であり、誰もがいつでも、どこでも、自分に合った形でスポーツに親しむことで、毎日の生活がより楽しく、豊かなものになるということを広く普及啓発し、市民のスポーツ参加への機運を醸成します。また、スポーツをしない人が、スポーツを「やってみる」気持ちになるために必要なきっかけづくりや、気軽にスポーツを体験できる機会の提供、スポーツへの興味・関心を高めるための情報発信を行います。

##### 施策 1-1-① スポーツの楽しみ方や効果等の情報発信

啓発キャンペーンの実施や仙台スポーツ情報ナビ<sup>※11</sup>、SNS<sup>※12</sup>等の多様なメディアを活用し、スポーツ情報をはじめ、スポーツの楽しみ方や効果等を広く発信します。

市民が、必要なスポーツ情報を効率的に入手できるよう情報の集約化を図るとともに、効果的な情報提供の実施に取り組みます。また、ウェブ上で提供する情報については、高齢者や障害者等誰もが支障なく利用できるようウェブアクセシビリティの向上を目指します。

##### 主な事業

- 啓発キャンペーンの実施（マスメディア発信、SNS 発信等）
- スポーツナビゲーションせんだい<sup>※13</sup>や仙台スポーツ情報ナビ、せんだい Tube<sup>※14</sup>等による情報発信
- プロ・トップスポーツチームや学生等と連携したスポーツ情報・魅力の発信

※11 仙台市のスポーツ情報、各施設・体育館のスケジュールやイベント情報等、幅広く掲載しているサイト。

※12 ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。

※13 スポーツ施設に関する総合案内窓口。

※14 仙台市の魅力や市政に関するさまざまな情報を配信している仙台市公式動画チャンネル。

### 施策1-1-② スポーツをするきっかけづくり

スポーツを「する」「みる」「ささえる」楽しみ方をわかりやすく紹介することや、これまでスポーツに関わってこなかった人が気軽にスポーツに親しめるようなスポーツスタイルの提案、まちなかの公共空間等を活用したスポーツ・レクリエーションイベントの開催などにより、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツに参加するきっかけづくりを行います。また、スポーツの習慣化に向けた取り組みを積極的に推進します。

#### 主な事業

- スポーツを「する」「みる」「ささえる」楽しみ方講座の開催
- 道路・公園等の公共空間を活用したスポーツ・レクリエーションイベントの開催
- アクティブライフスタイル推進に向けた啓発・スポーツプログラムの実施

### 施策1-1-③ 誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催

マイタウンスポーツデーや仙台市民レクリエーションまつり、スポーツ施設でのスポーツ教室等、年齢、性別を問わず、多くの市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむ機会の充実を図ります。また、スポーツ参加に向けた啓発活動やきっかけづくりとなる講座、イベント等をマイタウンスポーツデーの時期と合わせて実施することにより、スポーツ参加への訴求力を高めます。

また、気軽に取り組めるスポーツとして人気の高いウォーキングについては、おすすめのウォーキングコースの紹介やイベント等の開催により積極的に推進していきます。

#### 主な事業

- マイタウンスポーツデーの開催
- 仙台市民レクリエーションまつりの開催
- ウォーキング推進事業

## 施策1-2 子どものスポーツ推進【重点施策】

生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための基礎づくりとして、子どものスポーツ活動を推進します。

幼児期・児童期における遊び・スポーツの重要性を保護者に対して啓発するとともに、親子で参加できるイベントの実施や子どもが楽しく遊びやスポーツを体験できる機会の充実など、スポーツを「好きになってもらうこと」「楽しかったと思ってもらうこと」からスポーツの習慣化へとつながるような取り組みを進めます。

また、学校体育と連携し、アスリート等の派遣や運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有できる授業づくりの実践等により、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てるとともに、子どもの体力や運動能力の向上に取り組みます。

### 施策1-2-① 親子で体を動かすきっかけづくり

幼児期における遊び・スポーツの重要性に関して、乳幼児健診等の機会を通じた保護者へ啓発を行うとともに、親子で体を動かすことのできるイベント等の情報提供や機会の充実など、子どもの健康づくりを支援します。

#### 主な事業

- 乳幼児健診等の事業や親子で参加する行事を通じた保護者への啓発 **新規**
- 子育て情報サイト「せんだいのびすくナビ<sup>\*15</sup>」と連携したスポーツイベント情報の提供
- キッズスポーツデーやファミリースポーツデー等の開催

### 施策1-2-② 子どもが遊ぶ・スポーツを体験する機会の創出

多様な遊び・スポーツを体験できるイベントの開催等により、楽しみながら体を動かすことへの興味・関心を高めるとともに、“楽しさ”のほかに“かっこよさ”、“憧れ”等もスポーツをはじめ大きな要素になることから、プロ・トップスポーツチームやアスリート等と連携したスポーツと楽しく触れ合う機会の創出に取り組みます。

#### 主な事業

- 多様な遊び・スポーツを体験できるイベントの開催
- プロ・トップスポーツチーム等が連携した親子スポーツ体験イベントの開催 **新規**
- プロ・トップスポーツチーム等による幼稚園、保育所などへの訪問

※15 子育てに関するさまざまな行政サービス、施設情報、イベント情報など、子育てに役立つ情報を発信している仙台での子育てを応援する情報サイト。

### 施策1-2-③ 子どもの健康な体づくりと体力・運動能力向上の推進

子どもの体力・運動能力の現状を把握するとともに、幼児から参加できる子ども向けスポーツ教室の開催やプレイリーダー<sup>※16</sup>を活用した日常的に運動・スポーツを実施する習慣の支援などを積極的に展開することで、子どもが体を動かす機会の充実を図ります。

また、保護者や指導者向けに医学・心理学・栄養学等のセミナーを開催し、子どもの健康的な体づくりと体力・運動能力向上を推進します。

#### 主な事業

- 体力・運動能力調査の実施
- 幼児向けスポーツ教室の開催
- ジュニアアスリートセミナーの開催

### 施策1-2-④ 食育の推進

健康な体づくりには、栄養バランスのとれた食事や適度な運動、十分な睡眠が必要であり、スポーツ活動においても日々のトレーニングに加え、健全な食生活が重要になることから、競技者・指導者・保護者向けのセミナーやイベントの開催等によるスポーツを通じた食育の推進に取り組みます。

#### 主な事業

- 食事を通じた健康づくりについての情報発信 **新規**
- ジュニアアスリートセミナーの開催【再掲】
- アスリートや専門家との連携による食育イベントの開催 **新規**

### 施策1-2-⑤ 学校体育の充実

体を動かすことへの意欲・関心を高める授業やアスリートの活用等、学校における体育活動を通じて、スポーツが好きな子どもや日常からスポーツに親しむ子どもを増やすとともに、生涯にわたりスポーツが継続できる資質や能力を育てます。

#### 主な事業

- 体力や技能の程度、障害の有無等に関わらず運動の多様な楽しみ方を共有できる授業づくりの推進
- アスリート活用事業の推進
- 体育実技補助指導者派遣・武道実技補助指導者派遣

※16 あそび場で子どもと関わる専門スタッフのこと。

### 施策1-2-⑥ 運動部活動の充実

保護者の協力や地域スポーツ団体との連携等、学校と地域の協働により生徒のスポーツ環境の充実に図るとともに、外部指導者の積極的な参画を進めるなど、持続可能な運動部活動の推進に取り組みます。

#### 主な事業

- 部活動外部指導者派遣
- 部活動指導員派遣
- 運動部活動指導者ガイダンス・研修会の実施

### 施策1-2-⑦ 競技活動支援

本市スポーツ協会や加盟競技団体等による、指導者の養成・資格取得の支援を進めるとともに、指導者の倫理・コンプライアンスの強化を行います。また、プロ・トップスポーツチームとの連携によるジュニア期から高いレベルの指導を受ける機会の拡充など、競技力の向上を目指します。

#### 主な事業

- スポーツ指導者等の養成・資格取得支援
- スポーツ指導者の倫理・コンプライアンス強化の推進
- 全国及び国際規模のスポーツ大会に出場する選手または団体等に対する助成

### 施策1-3 高齢者や障害者がスポーツに参画しやすい環境づくりの推進【重点施策】

高齢者が日常的にスポーツに親しめるよう、無理なく実施できるプログラムの提供や気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の機会の充実、「杜の都せんだい『元気はつらつチャレンジカード』」の利用推奨等、高齢者のスポーツ活動を支援していきます。

また、障害者スポーツの体験会や講演会の開催等により、障害者スポーツの普及促進を図るとともに、スポーツをする機会の充実やスポーツ施設のユニバーサルデザイン<sup>※17</sup>化の推進等、障害者のスポーツ環境の充実を図ります。

#### 施策1-3-① 高齢者のスポーツ活動支援

スポーツをすることによる健康増進の効能や日常生活で簡単に取り組むことができるスポーツ等、スポーツ実施に係る情報を幅広い手段を通じて発信することにより、スポーツに親しむきっかけづくりを行います。また、安心・安全、かつ、健康に対する効果が得られるようなスポーツプログラムの提供や、「杜の都せんだい『元気はつらつチャレンジカード』」によるスポーツ活動の推奨等、高齢者のスポーツ活動の充実に取り組みます。

#### 主な事業

- 杜の都せんだい「元気はつらつチャレンジカード」の利用推奨
- 高齢者向けスポーツプログラムの提供やスポーツイベントの開催
- 仙台市高齢者生きがい健康祭（スポーツ交流大会）の開催

#### 施策1-3-② 障害の有無に関わらず、誰でも楽しめるインクルーシブスポーツの普及・促進

障害の有無に関わらず誰でも楽しめるインクルーシブスポーツの普及・促進を図り、障害のある人もない人もスポーツを通じて触れ合うことで、相互理解を深めることを目指します。

#### 主な事業

- 障害の有無に関わらず誰でもスポーツを体験できるイベント等の開催

#### 施策1-3-③ 障害者スポーツの普及促進・活動支援

障害者スポーツ団体や選手との交流、障害者スポーツをテーマとした講演会の開催等により障害者スポーツの普及を促進します。

また、仙台国際ハーフマラソン大会（車いすの部）の開催や障害者スポーツ大会の開催・誘致に取り組むほか、障害者向けスポーツ教室の開催等によるスポーツ活動機会の創出、障害者スポーツ指導員の養成等、障害者のスポーツ活動を支援します。

#### 主な事業

- 障害者スポーツをテーマとした講演会の開催
- 障害者向けスポーツ教室・イベント等の開催
- 障害者スポーツ大会の開催・誘致

※17 あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

### 施策1-3-④ スポーツ施設のユニバーサルデザイン化等の推進

「使いやすい」「わかりやすい」、安全で持続可能なスポーツ施設を目指し、大規模改修時にあわせたユニバーサルデザインの採用やバリアフリー<sup>※18</sup>化、多言語化を推進します。

また、障害者がスポーツ施設を安心して利用できるよう、スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置を進めます。

#### 主な事業

- スポーツ施設のユニバーサルデザイン化、バリアフリー化等の推進
- スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置 **新規**

### 施策1-4 女性のスポーツ参加促進

女性のスポーツ実施率は、20代から40代が特に低い状況にあり、仕事や育児などによる時間的な制約に加えて、スポーツに対する苦手意識や「スポーツ」のイメージがせまいことなどが影響していると思われます。

健康面におけるスポーツの必要性について周知するとともに、個人の体力や生活リズムに合わせた運動プログラムを実施するなど、妊娠・出産・子育て期等の激しい運動ができないときや、仕事や育児で時間や場所に制限がある中であっても生涯にわたりスポーツを楽しむことができる環境づくりを行い、女性のスポーツへの参加を促します。

また、女性が高い水準でスポーツ活動を継続できるよう、必要な支援に取り組みます。

#### 施策1-4-① 女性のライフステージやライフスタイルに合わせたスポーツメニューの提案

スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、SNS等の多様な手法により、「食べない・運動しない」生活習慣による痩せ・骨密度低下等の健康リスクへの警鐘や体を動かすことの効果・効能に関する啓発活動を実施するとともに、忙しい合間の「すき間時間」や「ながら」で気軽にできるスポーツメニューの紹介を行うなど、女性がスポーツをしたくなるような取り組みを実施します。

#### 主な事業

- 女性特有の健康課題やスポーツの重要性に関する理解促進、ライフステージに応じたスポーツとの関わりについての啓発活動の実施
- ライフスタイルや個人の特性や状況に合わせたスポーツメニューの提案

※18 障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去する。

#### 施策1-4-② 女性のスポーツ参加をサポートする環境づくり

楽しく体を動かせる女性向けのスポーツプログラムの提供や、食や美容、ファッション等スポーツ以外の付加価値とスポーツを掛け合わせたイベントの開催等、女性がスポーツに参加しやすい環境づくりを進めます。

##### 主な事業

- 女性向けスポーツプログラムの提供やスポーツイベントの開催

#### 施策1-4-③ 親子で体を動かすことができるイベントの開催

キッズスポーツデーやファミリースポーツデー等のスポーツイベントを開催し、子どもと一緒に安心して楽しみながら体を動かす機会の充実に取り組みます。

##### 主な事業

- キッズスポーツデーやファミリースポーツデー等の開催【再掲】

#### 施策1-4-④ 女性の継続的なスポーツ実施に向けた支援

女性指導者の育成や活動の支援、食事や女性特有の健康課題に関する講習会の開催等、女性が健康に、かつ高い水準でスポーツ活動を継続していくための取り組みを実施します。

##### 主な事業

- 女性指導者の育成・活動支援 **新規**
- 専門家と連携した食事改善プログラムの提供 **新規**
- 女性特有の健康課題に関する講習会等の開催 **新規**

## 施策 1-5 ビジネスパーソンへのスポーツ推進

ビジネスパーソン、特に20代～50代のスポーツ実施率は他の年代に比べ低い状況です。

通勤時や外出時に「意識的に歩く」ことやオフィス内での階段利用等、日常でのちょっとした取り組みもスポーツであるという認識を普及させ、スポーツをする楽しさや運動することの重要性に気付いてもらい、行動へとつなげることを目指します。

日々忙しく、まとまった時間や場所が確保できない中であっても、気軽に取り組むことができるウォーキングの実施を推奨していくとともに、「仙台スポーツトワイライト・パス<sup>※19</sup>」の発行や夜間開催のスポーツ教室の開催等、ビジネスパーソンへのスポーツ活動を推進します。

### 施策 1-5-① 気軽にスポーツに取り組める環境づくりに向けたプロモーション活動の実施

スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、SNS等の多様な手法により、スポーツの楽しさや体を動かすことの重要性について啓発するとともに、通勤時間や休憩時間等に気軽に取り組めるスポーツの紹介等を通じて、ビジネスパーソンへのスポーツ習慣作りを促進します。

#### 主な事業

- 運動不足の現状と多様なライフスタイルに対するスポーツ習慣づくりの普及啓発
- 通勤時間や休憩時間等を活用して気軽にできるスポーツの紹介

### 施策 1-5-② ビジネスパーソンへのスポーツ施設利用促進

早朝や夜間等のスポーツ施設の利用時間を拡大するとともに、「仙台スポーツトワイライト・パス」の利用を促進し、始業前や終業後のスポーツ活動を支援します。

#### 主な事業

- スポーツ施設の利用時間の拡大
- 仙台スポーツトワイライト・パスの利用促進

### 施策 1-5-③ ビジネスパーソンへのスポーツ活動機会の充実

夜間・休日のスポーツ教室や夜間の仙台国際ハーフマラソン大会練習会の開催、ナイトランニングステーションの開設等、ビジネスパーソンへのスポーツ活動機会の充実を図ります。また、始めるきっかけとしてハードルが低く、通勤途中等でも気軽に取り組める持続可能なスポーツとしてウォーキングの促進に取り組めます。

#### 主な事業

- ビジネスパーソン向けスポーツ教室・イベントの開催
- ウォーキング推進事業【再掲】

※19 タ方5時以降限定の市内スポーツ施設利用定期券のこと。市外在住者も利用可能。

### 施策1-5-④ 親子で体を動かすことができるイベントの開催【再掲】

キッズスポーツデーやファミリースポーツデー等のスポーツイベントを開催し、子どもと一緒に楽しみながら体を動かす機会の充実に取り組みます。

#### 主な事業

- キッズスポーツデーやファミリースポーツデー等の開催【再掲】

### 施策1-6 身近にスポーツができる場所・機会の充実

身近にスポーツができる場所や機会があることは、スポーツをする上で重要な要素です。市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、自宅や職場等から近い場所にあるスポーツ施設や公園等の活動場所の紹介、スポーツイベントの開催状況等の情報を発信します。

また、効率的・効果的で利用しやすいスポーツ施設の整備・改修を進めるとともに、さらなる施設サービスの充実を図るなど、誰もが安心・安全・快適にスポーツを楽しむことができるよう利用環境の向上に取り組みます。

#### 施策1-6-① スポーツ施設やスポーツイベント等に関する情報発信

スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、SNS等の多様な手法により、自宅や職場等から近い場所にあるスポーツ施設や公園等の活動場所の紹介、スポーツイベントの開催状況等の情報を発信します。

#### 主な事業

- 自宅や職場等から身近でスポーツができる場所の紹介やスポーツイベントの情報発信

#### 施策1-6-② 市民ニーズに応じた施設サービスの充実

スポーツ施設の効率的な管理運営をさらに進めるとともに、キャッシュレス決済の導入や施設利用手続きの簡略化等の検討、また、施設利用時間の拡大、スポーツ用具や施設設備の充実など、市民ニーズに対応した施設利用環境の向上に取り組みます。

#### 主な事業

- キャッシュレス決済の導入や利用手続きの簡略化等に向けた検討 **新規**
- スポーツ施設の利用時間の拡大 【再掲】
- スポーツ用具や施設設備の充実

### 施策 1-6-③ 施設機能の維持・向上

「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」を踏まえ、スポーツ施設の長寿命化を図るための計画的な改修・更新を引き続き実施するとともに、大規模改修時にあわせたユニバーサルデザインの採用やバリアフリー化、多言語化等を推進し、誰もが安全・安心・快適に利用できる施設環境をつくります。

また、大規模スポーツ大会の開催・誘致に向け、スポーツ施設の機能向上や民間活力を導入した施設整備に関する調査・検討を進めます。

#### 主な事業

- スポーツ施設の長寿命化を図るための計画的な改修・更新の実施
- スポーツ施設のユニバーサルデザイン化、バリアフリー化等の推進【再掲】
- スポーツ施設の長寿命化と連動したスポーツ施設の機能向上
- 民間活力の導入を視野に入れた施設整備の調査・検討

### 施策 1-6-④ 広告収入等を活用したスポーツ施設の充実

スポーツ施設でのネーミングライツ収入の拡大を目指すとともに、施設の空きスペースの貸付や飲食物販等の自動販売機設置による収入増、施設内広告の導入検討など、施設の効用を最大限発揮する取り組みを進めるとともに、これにより得た収入を施設改修やスポーツ備品の購入に充てるなど、利用者サービスの向上につなげます。

### 施策 1-6-⑤ 身近なところで体を動かせる空間づくり

市民が身近なところで気軽にスポーツができるよう、スポーツ施設や市立小中学校等の学校施設開放のほか、スポーツ指導員等の出張・WEBによるスポーツ教室の開催等に取り組めます。

#### 主な事業

- 学校施設開放事業の推進
- 市民の健康を支える公園づくりの推進
- 出張やWEBによるスポーツ教室の開催

## 施策1-7 スポーツに関わる人材の育成と活動の場の確保

スポーツ推進委員やスポーツ指導者は、市民の生涯スポーツの推進にとって重要な役割を担っています。

地域スポーツにおいて総合的な推進役を担うスポーツ推進委員の人材確保や資質向上を図るとともに、指導者養成事業の支援やスポーツに関わる人材を効果的に活用するための仕組みづくりについて検討します。また、スポーツ団体のガバナンス強化や研修会等によるスポーツ関係者のコンプライアンスの徹底、体罰等の根絶に向けた啓発に努めます。

仙台市スポーツ賞では、長年にわたりスポーツ活動に貢献された方への表彰を行います。

### 施策1-7-① スポーツ指導者等の養成・資質向上

本市スポーツ協会や加盟団体等による指導者養成事業への支援を継続して実施するとともに、スポーツ推進委員の人材確保や資質向上を図ります。

また、障害者スポーツ指導員や女性のスポーツ指導者の養成に取り組みます。

### 主な事業

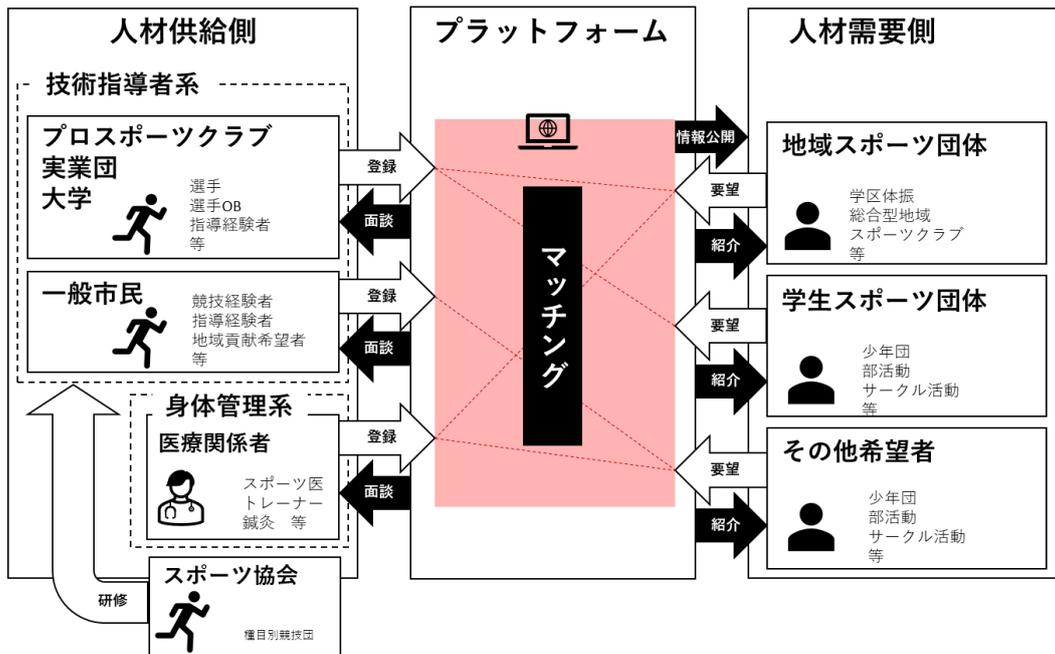
- スポーツ指導者等の養成・資格取得支援【再掲】
- スポーツ指導者等の倫理・コンプライアンス強化の推進【再掲】

### 施策1-7-② アスリートや地域スポーツ指導者等を効果的に活用する仕組みの検討

部活動や市民向けのスポーツ指導、講演等を必要としている人と、第一線を退いたアスリートやスポーツ指導者、スポーツドクター等スポーツに関する多様なスキルや専門性、実績等を有する人材を結び付ける有機的な仕組みの構築について検討します。

#### 主な事業

- スポーツに関わる人材をマッチングする仕組みの構築の検討 **新規**



スポーツ人材マッチングの仕組みイメージ図

### 施策1-7-③ スポーツ活動に貢献した人の表彰

アマチュアスポーツにおいて優秀な成績を収めたアスリートや、長年にわたりスポーツ活動に貢献された方々を称えるため、仙台市スポーツ賞の実施を継続します。

#### 主な事業

- 仙台市スポーツ賞の実施

## 施策1-8 トップアスリート等との連携・支援

市民のスポーツへの参加促進や応援機運の醸成を図るため、本市の財産であり強みである地元のプロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学と連携する仕組みの構築を検討するとともに、本市ゆかりのアスリートが活躍する場の創出やアスリートが継続的な競技活動をするための支援等に取り組みます。

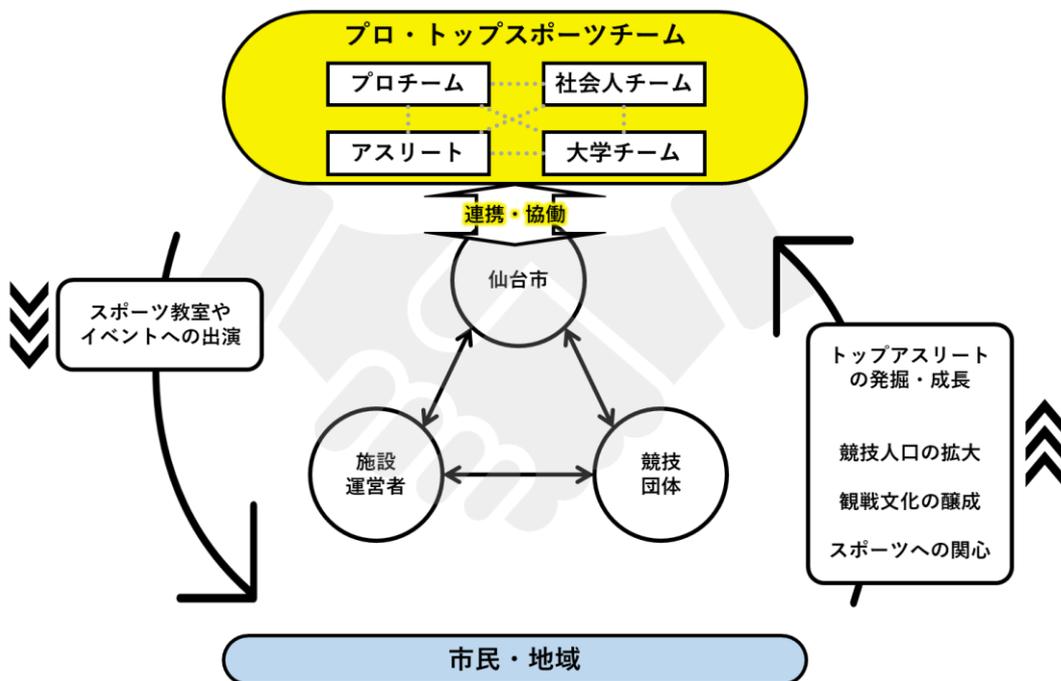
### 施策1-8-① プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等と連携する仕組みの創出

市民向けスポーツ教室等の開催や地域イベントへの参加、高い発信力を生かしたスポーツ啓発活動など、本市のスポーツ施策を連携・協働して推進するためのプロ・トップスポーツチームやアスリート、企業や大学チーム等との有機的なネットワーク創出に向けた検討を行います。同ネットワークを活用した効果的な連携・協働による市民のスポーツ参加促進やチーム等に対する応援機運の醸成を図るなど、地域スポーツの活性化を目指します。

### 主な事業

- プロ・トップスポーツチーム等との有機的な連携に向けたネットワーク構築の検討

新規



ネットワークのイメージ図

### 施策1-8-② 本市ゆかりのアスリートが活躍する場の創出

本市ゆかりのアスリートによるスポーツイベントや教室を開催し、スポーツへの興味・関心の喚起につなげます。また、パブリックビューイングや出場報告会等の実施により応援機運を醸成するなど、本市ゆかりのアスリートの活躍を後押しします。

#### 主な事業

- 本市ゆかりのアスリートと連携したスポーツイベント等の開催
- パブリックビューイングや出場報告会等の実施による応援機運の醸成

### 施策1-8-③ アスリートの競技活動支援

スポーツ障害予防、健康づくり、体力づくりに関する講演会の誘致・開催等により、アスリートの継続的な競技活動を支援します。

#### 主な事業

- スポーツ障害予防、健康づくり、体力づくりに関する講演会等の誘致・開催
- 全国及び国際規模のスポーツ大会に出場する選手または団体等に対する支援

### 施策1-8-④ 優秀な成績を収めたアスリートの表彰

仙台市スポーツ賞を実施し、アマチュアスポーツにおいて優秀な成績を収めたアスリートを表彰します。

#### 主な事業

- 仙台市スポーツ賞の実施 【再掲】



## ＜基本方針 2＞ 地域コミュニティ活性化につながるスポーツ機会の充実 スポーツで人や地域と“つながる”

### 施策 2-1 地域スポーツ活動への興味・関心の喚起

本市では、学区民体育振興会やスポーツ少年団、各競技団体、総合型地域スポーツクラブ<sup>※20</sup>等の地域スポーツ団体による様々なスポーツ活動が行われています。

地域でのスポーツ活動に参加しやすくなるよう、地域スポーツ団体の活動紹介や地域のスポーツ大会、地域におけるスポーツサークル・イベント情報等を積極的に発信し、地域スポーツ活動参加への機運を高めます。

#### 施策 2-1-① 地域スポーツ団体の活動紹介やスポーツイベント等の情報発信

スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、SNS 等の多様な手法により、地域スポーツ団体の活動や地域スポーツ大会の紹介、地域のスポーツサークル・イベント情報等の積極的な発信に取り組みます。

#### 主な事業

- 地域スポーツ団体の活動や地域スポーツ大会の紹介
- 地域で活動するスポーツサークルやイベントの紹介

#### 施策 2-1-② プロ・トップスポーツチームや学生等と連携したスポーツ情報・魅力の発信

高い知名度のあるプロ・トップスポーツチームや「学都仙台」という学生の多い本市の強みを活かし、SNS 活用の強化等効果的な情報発信に取り組みます。

#### 主な事業

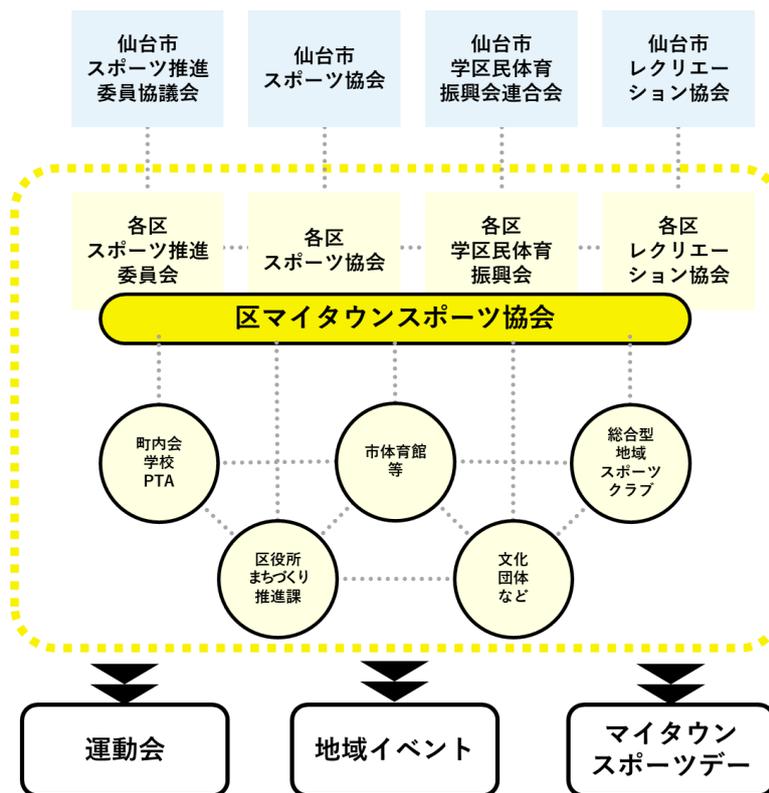
- プロ・トップスポーツチームや学生等と連携したスポーツ情報・魅力の発信【再掲】

※20 地域の方々が中心となって運営し、子どもから高齢者まで自分の体力や技術・技能レベルに応じて、生涯にわたり楽しく継続的にスポーツ活動を行うことができる会費制の多様目・多世代型のスポーツクラブ。

## 【Sports コラム】 = 本市の代表的なスポーツ団体

本市スポーツ施策の実現に向け、誰もが、いつでも、どこでも、スポーツに親しみ、楽しみ、参加することができる環境を創り上げていくうえで、スポーツ団体の活動は、本市のスポーツシーンにおいて欠かすことのできないものです。

マイタウンスポーツデーや学区民運動会をはじめとした、地域スポーツ活動における環境づくりの担い手として、また、仙台国際ハーフマラソンをはじめとした大規模スポーツイベントにおけるスポーツボランティアとして、本市のスポーツ推進上の重要な役割を担っています。



本市スポーツ関連団体の関係性（出典：スポーツ振興課資料より作図）

## 施策2-2 地域スポーツ活動の機会創出【重点施策】

スポーツには人を惹きつける力、喜びや感動をともに分かち合い人と人をつなげる力があります。プロ・トップスポーツチームや地域スポーツ団体等との連携・協働により、身近なところで気軽に参加でき幅広い層が楽しめるスポーツやレクリエーション活動など、地域スポーツ活動の機会を創出し、参加を促していくことで、地域の一体感の醸成や地域コミュニティの活性化へとつなげていきます。

### 施策2-2-① プロ・トップチームやアスリート、企業、大学等との連携による地域スポーツ活動の機会創出

プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等との連携・協働によるスポーツイベントを開催し、「参加してみたいくなる」地域スポーツ活動の機会を創出します。

#### 主な事業

- プロ・トップスポーツチームやアスリート、企業、大学等との協働による地域スポーツイベントの実施

### 施策2-2-② 市民参加型の多様なスポーツ・レクリエーション大会やイベントの開催

より幅広い市民が気軽に参加でき、楽しむことができる、多種目・多世代・多志向のスポーツ・レクリエーション大会やイベントを開催します。

#### 主な事業

- マイタウンスポーツデーの開催【再掲】
- 仙台市民レクリエーションまつりの開催【再掲】
- 仙台リレーマラソンの開催

### 施策2-2-③ 地域スポーツ・レクリエーション活動のイベント開催支援

マイタウンスポーツ協会<sup>※21</sup>や学区民体育振興会等が主催する地域スポーツ・レクリエーション活動のイベントや学区民運動会等の開催を支援します。

#### 主な事業

- マイタウンスポーツ協会主催大会の開催支援
- 学区民運動会の開催支援
- 市民総体・武道まつりの開催支援

※21 仙台市各区のスポーツ関係団体が、区民の健康増進、地域間交流、地域スポーツの活性化のために、マイタウンスポーツ協会を設立し活動している。

### 施策2-3 地域スポーツ活動の担い手支援

本市では、学区民体育振興会をはじめ、スポーツ少年団や各競技団体、総合型地域スポーツクラブ等が地域で行っている様々なスポーツ活動を、マイタウンスポーツ活動と位置づけ推進しています。

地域スポーツ団体の活動を継続的に支援することにより、市民が身近な地域で主体的にスポーツに親しむことができる機会を確保するとともに、地域の多様な主体の方々との協働による地域住民のニーズを捉えたスポーツ活動の推進につなげます。

#### 施策2-3-① 地域スポーツ団体の活動支援

学区民体育振興会等、地域スポーツ団体が行うマイタウンスポーツ活動を支援します。

#### 主な事業

- マイタウンスポーツ活動支援

#### 施策2-3-② スポーツ活動に貢献した団体の表彰

仙台市スポーツ賞を実施し、長年にわたりスポーツ活動に貢献された方々を表彰します。

#### 主な事業

- 仙台市スポーツ賞の実施【再掲】

#### 施策2-3-③ 地域スポーツ団体の活動のあり方に関する検討

少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの希薄化等、地域スポーツを取り巻く環境が大きく変わってきている中で、学区民体育振興会など地域スポーツ団体が、持続的な地域スポーツ活動の担い手としての役割を果たすため、各団体をはじめ多様な主体の方々とともに、これからの地域スポーツ団体の活動のあり方について検討を進めます。



### ＜基本方針 3＞ スポーツを核としたにぎわいの創出 スポーツで仙台に人が“集う”

#### 施策 3-1 本市スポーツイベント等への興味・関心の喚起

本市ゆかりのアスリートや本市に本拠地を置くプロ・トップスポーツチームの存在・活躍は、シビックプライド※22の醸成につながります。また、その活動や試合の開催により、多くの人々が地域に集まり様々な消費を中心とした経済効果を生むなど、まちの賑わい創出や経済の活性化にも貢献します。

本市のスポーツ大会やイベントの情報発信を、多様なメディアの活用により充実させるとともに、アスリートやプロ・トップスポーツチーム等との連携による効果的な情報発信に取り組みます。

##### 施策 3-1-① 本市のスポーツ大会やイベント等の情報発信

スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、SNS 等の多様な手法により、本市のスポーツ大会やイベントに関する効果的な情報発信に取り組みます。

#### 主な事業

- 本市が主催、共催するスポーツ大会やイベント等の情報発信

##### 施策 3-1-② 本市ゆかりのアスリートやプロ・トップスポーツチームとの連携・協働による応援機運の醸成

本市ゆかりのアスリートや、プロ・トップスポーツチームの活躍を積極的に発信するとともに、アスリート等による地域貢献活動を支援し、市民が愛着を持てるような取り組みを協働して進めることで、応援機運の醸成や観戦者の拡大へつなげることを目指します。

#### 主な事業

- 本市ゆかりのアスリートやプロ・トップスポーツチームの活動や試合情報等の発信
- プロスポーツチームのマスコットキャラクターを使用した原動機付自転車の図柄入りナンバープレートの交付 **新規**
- プロ・トップスポーツチームの支援組織と一体となった応援機運の醸成

※22 「都市に対する市民の誇り」のこと。

### 施策3-2 スポーツツーリズムの推進【重点施策】

スポーツコミッションせんだいによる大規模スポーツ大会やイベント誘致をはじめ、プロ・トップスポーツチームとの連携による誘客促進、本市独自の観光資源や自然環境を生かしたスポーツアクティビティ等のスポーツコンテンツの創出、若い世代を中心に人気の高まりを見せるアーバンスポーツの振興やツーリズムへの可能性など、戦略的なスポーツツーリズムの推進により、地域外からの誘客促進や交流人口の拡大、地域内消費の増加等、スポーツで稼げるまちを目指します。

#### 施策3-2-① スポーツコミッションせんだいと一体となった大規模スポーツイベントの開催・誘致

仙台国際ハーフマラソン大会等の大規模スポーツイベントを継続的に開催していくとともに、各種競技団体のスポーツイベント等の積極的な開催・誘致をスポーツコミッションせんだいと協働して推進します。

また、本市を訪れた大会参加者や観戦者の宿泊、食事、観光、物販等の消費につながるような効果的な情報発信や取り組みを通じて、大会等による経済効果を高めるとともに地域の活性化を目指します。

#### 主な事業

- 仙台国際ハーフマラソン大会等、大規模スポーツイベントの開催
- スポーツツーリズムと関連した観光情報等の発信強化
- 障害者スポーツ大会の開催・誘致【再掲】

#### 施策3-2-② プロ・トップスポーツチームとの連携による誘客促進

集客性の高い、本市に本拠地を置くプロ・トップスポーツチームと連携し、試合観戦を最大限に活用した誘客促進・交流人口の拡大に取り組みます。

#### 主な事業

- プロ・トップスポーツチームとの連携事業による誘客促進

#### 施策3-2-③ アウトドアアクティビティの活用

本市ならではの観光資源や自然環境等とスポーツを掛け合わせた体験型のアウトドアアクティビティの活用し、スポーツによる恒常的な交流人口の拡大を図ります。

#### 主な事業

- アウトドアアクティビティの活用によるリピーターづくり

### 施策3-2-④ アーバンスポーツの振興

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目に加えられ、従来のスポーツの枠にはとられない「楽しむスポーツ」、「遊びの要素を取り入れたアクティビティ」として若い世代を中心に人気の高まるアーバンスポーツの振興に向け、アーバンスポーツに触れる機会を創出するとともに、活動するための環境整備やアーバンスポーツを活用したツーリズムの可能性について検討を進めます。

#### 主な事業

- スポーツ施設等でのアーバンスポーツの教室・イベントの開催
- 既存施設を活用した環境整備の検討
- アーバンスポーツツーリズムに関する検討 **新規**

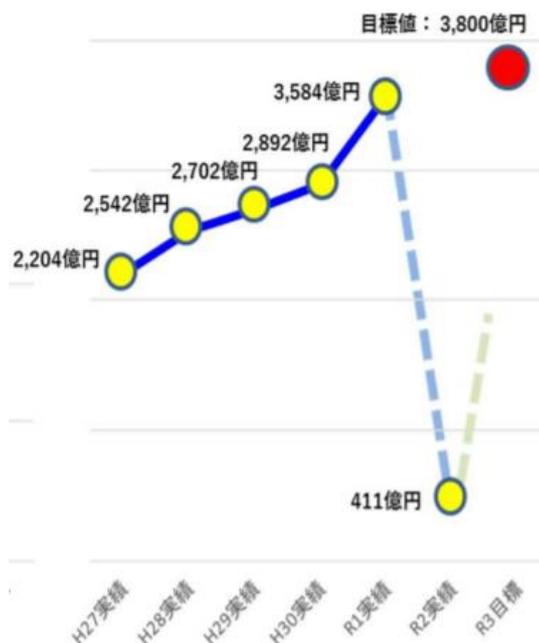
### 施策3-2-⑤ 本市スポーツツーリズムのブランディング化に向けた調査・検討

本市ならではのスポーツツーリズムの創出に向け、新たな誘客につながる効果的なターゲット層やスポーツ競技種目等、本市スポーツツーリズムを戦略的に推進するための調査・検討を行います。

#### 主な事業

- 新たなスポーツツーリズムのターゲット特定に向けた調査・検討 **新規**

スポーツツーリズム関連消費額の推移



スポーツツーリズム関連消費額 (出典：スポーツ庁)

### 施策3-2-⑥ スポーツコミッションせんだいの機能強化

本市の特色を生かしたさらなるスポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大や経済活性化、都市ブランドの向上に向け、大規模スポーツ大会の誘致・開催に向けたマーケティングやシティプロモーションへの強化等を戦略的に推進するための人材の確保や育成、組織のノウハウの集約を進めるなど、スポーツコミッションせんだいの機能強化を図ります。

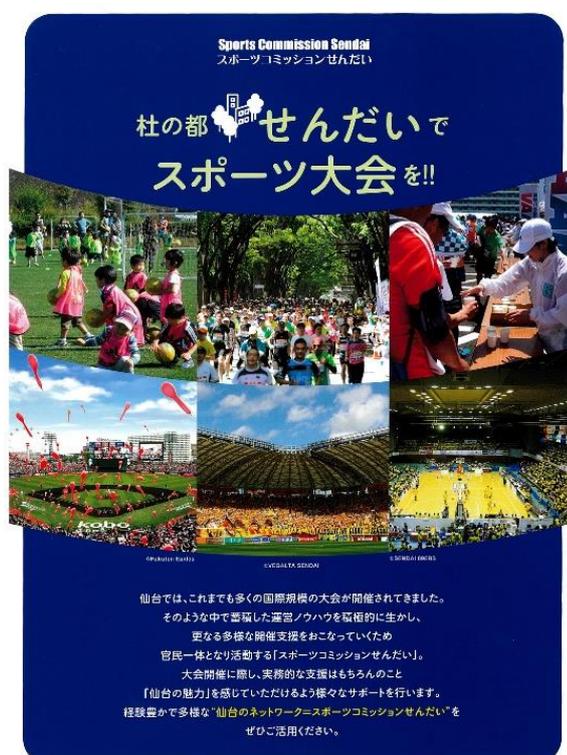
## SPORTS COMMISSION SENDAI

### 【Sports コラム】 =スポーツコミッションせんだい

SINCE 2014

近年、スポーツ庁ではスポーツツーリズム需要拡大に向け、様々な戦略や施策を実践しています。その担い手のひとつとして期待されるのが、全国各地のスポーツコミッション組織であり、本市にも平成26年に「スポーツコミッションせんだい」が設立されました。構成団体との連携のもと、スポーツ大会の誘致や開催支援を行っており、仙台国際ハーフマラソン大会をはじめとする大規模なスポーツイベントや地域スポーツイベントの誘致や開催に取り組んでいます。活動においては行政や民間、大学、市民等様々な関係者を巻き込み、地域一体となり、まちの活性化に向けて協力してその運営を支えています。

これまでに蓄積された大会開催ノウハウやプロスポーツ球団への支援の取組みを活かして、引き続きスポーツの力をまち全体に広げていきます。



<http://www.scs-sendai.jp>

スポーツコミッションせんだいパンフレット（出典：仙台市スポーツ振興事業団）

### 施策3-3 スポーツを魅せる環境づくり

競技場等に足を運び競技を直接観戦することには、スポーツの迫力が体感できることをはじめ、興奮や感動、同じチームを応援している仲間との一体感を味わえるなど、多くの魅力があります。

スポーツ観戦の多様な楽しみ方を発信することや、誰もが観戦したくなる、観戦しやすい環境の整備等、スポーツを魅せる環境づくりに取り組めます。

#### 施策3-3-① 様々なスポーツ競技の紹介

スポーツナビゲーションせんだいや、SNSの活用、講座の開催等の多様な手法により、プロ・トップスポーツの競技をはじめとした様々なスポーツ競技のルールや魅力、楽しみ方等を発信します。また、プロ・トップスポーツチームや本市ゆかりのアスリートが活躍する試合のパブリックビューイング実施やアスリート等がスポーツの魅力を直接語る機会を充実させるなど、魅せるスポーツの発信強化に取り組めます

#### 主な事業

- スポーツ競技のルールや魅力、楽しみ方等の紹介
- パブリックビューイングや出場報告会等による応援機運の醸成【再掲】
- アスリート等がスポーツの魅力を語る機会の充実

#### 施策3-3-② 誰もが観戦したくなる・観戦しやすいスポーツ環境の整備

「みる」スポーツ環境の充実に向け、大規模改修時におけるスポーツ施設の機能向上や民間活力を導入した施設整備に関する調査・検討を進めます。また、スポーツ施設のユニバーサルデザインの採用やバリアフリー化等を通じて、誰もが快適にスポーツを観戦できる環境を整備します。

#### 主な事業

- スポーツ施設の長寿命化と連動したスポーツ施設の機能向上【再掲】
- スポーツ施設のユニバーサルデザイン化、バリアフリー化等の推進【再掲】
- 民間活力の導入を視野に入れた施設整備の調査・検討【再掲】

#### 施策3-3-③ スポーツレガシーの保存・活用

本市のスポーツ環境は、国体の開催、プロスポーツの誕生、マラソン等の市民参加型スポーツの発展など、近年、劇的に変化しています。東日本大震災からの復興の大きな力にもなった「仙台のスポーツ」のストーリーを、本市ゆかりの選手の活躍・業績等の歴史的財産や本市のスポーツ活動の記録とともに集約し、本市のスポーツレガシーとして次世代へと継承していきます。

また、こうしたスポーツレガシーを活用し、本市スポーツ文化の発信拠点として多くの方に来訪いただけるような展示ギャラリー等の創設について検討します。

### 施策 3-4 新たなスポーツ産業等との連携

国では、「スポーツ」とAIやIoT<sup>※23</sup>等の「テクノロジー」を融合・活用することで、スポーツが持つ新たな価値を創造し、スポーツビジネス機会の創造・拡大や社会課題の解決につながる可能性は大きいとしています。

新しいテクノロジーや機器によってスポーツの垣根が下がったり、スポーツを楽しく継続できるなど、デジタル技術の活用による新たなスポーツの有用性について検討を進めるほか、観光や情報、医科学等多様な産業との連携を図り、スポーツにおける新たなサービスの創出、スポーツの裾野の拡大を目指します。

#### 施策 3-4-① スポーツにおけるデジタル技術の活用や e スポーツ<sup>※24</sup> 等新たなスポーツ産業との連携に関する検討

スポーツの現場におけるデジタル技術の活用により、これまでにないスポーツの楽しみ方や、「体を動かすこと×IT」による健康増進・予防医療等、新たなスポーツの機会、サービスの導入に関する情報収集や検討を進めます。

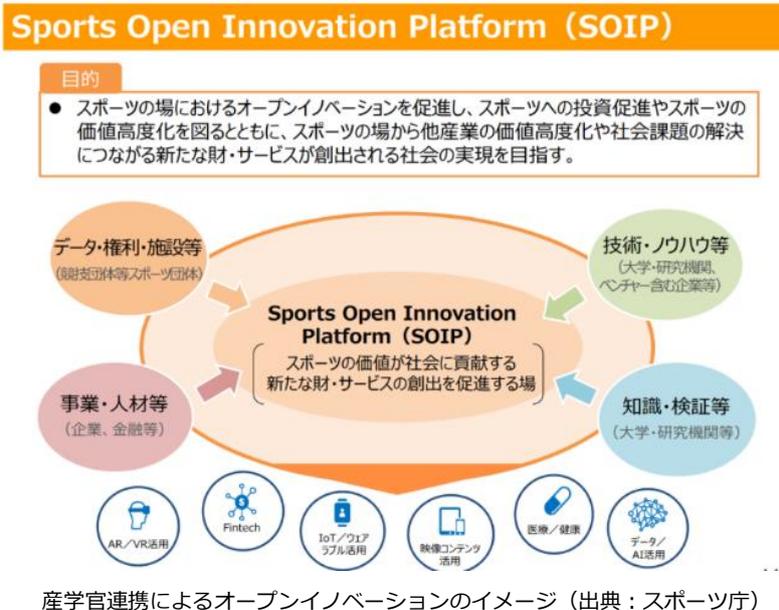
#### 主な事業

- デジタル技術の活用による新たなスポーツの機会・サービスの導入に関する検討 **新規**
- e スポーツに関する情報収集 **新規**

#### 【Sports コラム】 = スポーツの成長産業化に向けたデジタル技術の活用

スポーツ庁ではスポーツと他業界との連携によりスポーツの可能性を広げることが推進するなかで、スポーツや技術との親和性が高い研究機関や民間企業を巻き込んだ産学官連携による新たな付加価値の創出が重要であるとしています。

本市においても、デジタル技術の活用による新たなスポーツサービスの創出に向けて検討を進めます。



※23 様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。Internet of Thingsの略称。

※24 電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。エレクトロニック・スポーツの略称。

### 施策3-4-② 医学と連携したスポーツ障害の予防、スポーツ医学を活用した健康づくり・体力づくりの推進

仙台市医師会等との連携を図り、自分に適した運動をスポーツドクターが医学的にアドバイスするドクターコースプログラム<sup>※25</sup>の活用推進や、スポーツ障害予防、健康づくり・体力づくり等に関する講演会の開催等を行います。

#### 主な事業

- 仙台市体育館ドクターコースの活用推進
- スポーツ障害予防、健康づくり・体力づくりに関する講演会等の誘致・開催
- ジュニアアスリートセミナーの開催【再掲】

### 施策3-5 スポーツボランティアの育成・支援

仙台国際ハーフマラソン大会等の大規模スポーツ大会の運営など、本市のスポーツイベントは、多くのスポーツボランティアとの支え合いにより成り立っています。

スポーツボランティアへの参加は、スポーツに関わる楽しさやスポーツを支え合う充実感や一体感を得ることができるとともに、自身の身体活動としてスポーツを「する」ことにもつながります。

こうしたスポーツボランティアの活動内容や魅力を紹介するとともに、スポーツボランティアの人材育成やスポーツイベント等の運営を支える機会の創出に取り組み、市民のスポーツボランティアへの参加意欲を高めます。

#### 施策3-5-① スポーツボランティア活動への関心喚起

スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、SNS 等の多様な手法により、スポーツボランティアとしてスポーツに関わる楽しさやスポーツを支え合うやりがい等を発信し、スポーツボランティア活動への興味・関心を喚起します。

#### 主な事業

- スポーツナビゲーションせんだいや仙台スポーツ情報ナビ、せんだい Tube 等による情報発信【再掲】
- せんだいスポーツボランティアステーションでの情報発信

※25 仙台市医師会派遣のスポーツドクターと仙台市体育館のスポーツ指導員が「自分に適した運動」を測定・診断し、アドバイスするプログラム。

### 施策3-5-② スポーツボランティアの養成

ボランティア活動に必要な知識・情報の習得のため、研修会・講演会を実施することで、スポーツボランティアの資質の向上を図ります。また、中高生を対象とした講習会を開催し、若者のスポーツボランティアへの参画意欲を高めます。

#### 主な事業

- スポーツボランティアに対する研修会・講演会の開催
- 中高生スポーツボランティア養成講座の開催

### 施策3-5-③ スポーツボランティアの活動機会の創出

認知度が高い大会運営スタッフのみならず、スポーツイベント等多様な活動機会を創出し、スポーツボランティアへの参画意欲を高めます。

また、スポーツボランティアを必要とする側とされる側が無駄なくマッチングできるよう、総合案内窓口やホームページを通じた情報発信に取り組みます。

#### 主な事業

- スポーツイベントにおけるスポーツボランティアの活用促進
- スポーツボランティアの多様な活動機会の創出
- せんだいスポーツボランティアステーションによるボランティア情報の発信

CHAPTER  
06

## 計画の推進

1. 成果指標・目標値
2. 計画の進行管理
3. 仙台市スポーツ推進審議会への進捗報告

## 計画の推進

## 1. 成果指標・目標値

本計画における目指す姿の達成度合いを図る計画全体の成果指標として、「週1回以上スポーツを行う15歳以上の市民の割合」70%を目指すものとします。

その他、各種重点施策の推進による個別の成果についても以下のとおり定めます。

なお、目標値は、計画中間年（令和8年度）の状況に応じて、必要な見直しを行います。

成果指標		現状値 (R2)	目標値 (R8)
総 合	週1回以上スポーツを行う15歳以上の市民の割合	39.3%	70%
	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している15歳以上の市民の割合	-	50%
	週3回以上運動やスポーツを行う仙台市立小学校の児童（5年生）の割合	51.9%	65%
個 別	元気はつらつチャレンジカードの100回達成者・ゴールデン賞・シルバー賞獲得者の合計	896人	1,800人
	障害者スポーツについて、「する」・「みる」・「ささえる」のいずれかの活動を行う15歳以上の市民の割合	-	20%
	市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加する15歳以上の市民の割合	18.7%	35%
	年1回以上市内の競技場等で直接スポーツ観戦する15歳以上の市民の割合	40.3%	50%
	スポーツボランティアなどの協力活動を行う15歳以上の市民の割合	2.9%	8%

## 2. 計画の進行管理

---

本計画の施策や取り組みを着実に推進していくため、年度ごとに現状把握・評価・見直しを行います。また、中間年（令和8年度）に必要な見直しを実施する予定です。

## 3. 仙台市スポーツ推進審議会への進捗報告

---

計画に基づく取り組みの実施状況については、仙台市スポーツ推進審議会に報告します。

単語	説明
<b>【あ】</b>	
<b>IoT</b>	様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。Internet of Things の略称。
<b>ICT</b>	情報通信技術。information and communication technology の略称。
<b>e スポーツ</b>	電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。エレクトロニック・スポーツの略称。
<b>インクルーシブスポーツ</b>	共生的な社会の実現に向けて障害の有無や程度にかかわらず多様な人々が共に実施できるスポーツのこと。
<b>AI</b>	知的な機械、特に知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術。Artificial Intelligence の略称。
<b>SNS</b>	ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。
<b>【か】</b>	
<b>元気はつらつ チャレンジカード</b>	仙台市内のプール、体育館、武道館等を個人利用する 65 歳以上の方または豊齢カード (旧豊齢手帳) の交付を受けた方で希望者を対象に配布しているポイントカード。利用回数に応じて施設使用料が無料になる。
<b>コト消費</b>	魅力的なサービスや空間設計等によりデザインされた「時間」を顧客が消費すること。
<b>【さ】</b>	
<b>シビックプライド</b>	都市に対する市民の誇りのこと。
<b>スポーツコミッション せんだい</b>	多様なスポーツイベントの開催にあたり、実務的な支援や仙台の魅力を伝えるための様々なサポートを行うため設立された官民一体の組織。
<b>スポーツワイライト・ パス</b>	夕方 5 時以降限定の市内スポーツ施設利用定期券のこと。市外在住者も利用可能。
<b>スポーツナビゲーション せんだい</b>	スポーツ施設に関する総合案内窓口。スポーツ施設利用を含めたスポーツ全般に関するさまざまな情報を発信している。

単語	説明
仙台スポーツ情報ナビ	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団が運営している情報サイト。仙台市のスポーツ情報、各施設・体育館のスケジュールやイベント情報等、幅広く掲載している。
せんだいスポーツボランティアステーション	スポーツボランティアの募集・登録、スポーツイベントのボランティア情報の発信、スキルアップのための研修会や各種講演会を開催している。既存スポーツボランティア団体や、今後活動を希望する人への支援を通じ、多くの人々が積極的にスポーツボランティア活動に関われるよう支援を行っている。
せんだい Tube	仙台市公式動画チャンネル。仙台市の魅力や市政に関するさまざまな情報を配信している。
せんだいのびすくナビ	子育てに関するさまざまな行政サービス、施設情報、イベント情報など、子育てに役立つ情報を発信している仙台での子育てを応援する情報サイト。アプリ版もあり、スマートフォン等からもアクセス可能。
総合型地域スポーツクラブ	地域の方々が中心となって運営し、子どもから高齢者まで自分の体力や技術・技能レベルに応じて、生涯にわたり楽しく継続的にスポーツ活動を行うことができる会費制の多種目・多世代型のスポーツクラブ。仙台市には現在、13の総合型地域スポーツクラブが設立されている。
【た】	
ドクターコースプログラム	「自分に適した運動」を医師が診断し、アドバイスするプログラムで、運動するにあたって不安や疑問のある方、日頃運動習慣があっても改めて自分の体力について詳しく知りたい方など、誰でも参加できる。実施は土曜日の午後。仙台市医師会派遣のスポーツドクターと仙台市体育館のスポーツ指導員が時間をかけて測定・診断いたします。
【は】	
バリアフリー	障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、より広く障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。
VR	仮想現実。Virtual Reality の略称。
プレイリーダー	あそび場で子どもと関わる専門スタッフのこと。
【ま】	
マイタウンスポーツデー	毎年10月「スポーツの日」の祝日。仙台市ではこの日を継続的にスポーツに親しむきっかけとしてもらえるよう、市スポーツ施設を無料開放し、各区スポーツ・レクリエーション祭の開催をはじめニュースポーツ・レクリエーションスポーツ体験会、体力測定等を実施している。

単語	説明
<b>マイタウンスポーツ協会</b>	<p>仙台市各区のスポーツ関係団体（学区民体育振興会・スポーツ協会・スポーツ推進委員・レクリエーション協会等）が、区民の健康増進、地域間交流、地域スポーツの活性化のために、マイタウンスポーツ協会を設立し活動している。体育の日のスポーツイベント「マイタウンスポーツデー」の開催や、区民まつりへの参加などを通して、区におけるマイタウンスポーツ活動の中心として、活動している。</p>
<b>【や】</b>	
<b>ユニバーサルデザイン</b>	<p>バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。</p>

